5. 公の施設調査

調査施設分類 (1 体育館等(府施設名称等 1 体育会館、2 門真スポーツセンター、3 臨海スポーツセンター、4 漕艇センター))

都	道府県名		大阪府			秋田県			
Q1	同様の施設の有無		あり	T			あり		
Q2	施設名称	大阪府立体育会館	大阪府立門真スポーツセンター	大阪府立臨海スポーツセンター	大阪府立漕艇センター	秋田県立体育館	秋田県立スケート場	秋田県立野球場	
Q3	開設年月日	昭和62年2月14日	平成8年6月20日	昭和59年4月1日	昭和44年4月1日 (平成8年6月 A棟増築)	昭和43年10月10日	S46.11	H15.6	
Q4	施設で実施してい る主な事業	スポーツ教室(ヨガ、エアロビック フィットネス、ウォーキングエクササイ ズ等)		フポーツ独安/ニーフ独安 フケート	カヌー貸出	ー般開放・無料開放(卓球、パドミントン、ミニテニス、パスケットボール等) 卓球教室 ニュースポーツ交流大会(ターゲットパードゴルフ、ミニテニス)	キッズスケート教室 (11~12月·1月~2月上旬·2月下旬~3月中旬) 計3回開催 ジュニアスケート教室 (11~12月·1月~2月上旬·2月下旬~3月中旬) 計3回開催 冬休みスケート教室 (12月下旬·1月上旬) 計2回開催 親子スケート教室 (12月下旬) 1回開催 大人のためのスケート教室 (1月~2月上旬) 1回開催 スケート初心者教室 (10月下旬~3月下旬) 20回開催	特になし	
Q5	主な施設内容	第1競技場:フロア面積3,010㎡ 第2競技場:フロア面積912㎡ 柔道場:450㎡	[メイン・アリーナ] 春・夏期(プール) メインプール:50m×25.5m(10コース)、飛び込みプール:25メートル×25m 秋期(フロア) 競技フロア:3,504㎡(最大84メートル×44m) 冬期(アイススケートリンク) メインリンク:60m×30m、サブリンク:30m×18m [サブ・アリーナ] 競技フロア:1,540㎡(35m×44m) [サブ・プール] 50m×15m(7コース) [その他]トレーニング室:約500㎡、スポーツ情報コーナー:約70㎡、会議室5室、多目的ホール	第2体育室:1,088㎡ アイススケート場:1,593㎡ 会議室:<大>定員120名、<小>定員 25名 等	艇庫(112艇収容) 会議室: 特別会議室、会議室2室 トレーニング室: 90㎡ 漕艇コース(B級1,000m公認) = 浜 寺水路に設置		スピードリンク(13m*333.3m) ホッケーリンク(30m*60m) 延床面積11,825㎡	天然洋芝グラウンド(一部人工芝) 両翼100m センター120m 延床面 積5,666㎡ 夜間照明(4基+大屋根2 基) 観客席25,000席	
Q6	管理運営形態			指定管理者による管理 (指定管理者名) 南海グループ (代 表者 南海電気鉄道(株))	指定管理者による管理 (指定管理者名) 南海グループ(代表者 南海電気鉄道㈱)	指定管理者による管理 (指定管理者名) (財)秋田県総合 公社	指定管理者による管理 (指定管理者名) (財)秋田県総合公社	指定管理者による管理 (指定管理者名) (財)秋田県総合 公社	
Q7	利用者数(20年度実績)	711,849人	491,663人	209,780人	48,722人	105,748人	70,410人	83,497人	
Q8	料金(料金水準の 考え方)	他の施設の料金を参考に設定 スポーツ化振興の観点からアマ チュア利用については低料金を設定	他の施設の料金を参考に設定 スポーツ振興の観点からアマチュア利用につい ては低料金を設定	他の施設の料金を参考に設定 スポーツ化振興の観点からアマ チュア利用については低料金を設定	他の施設の料金を参考に設定	他の施設の料金を参考に設定 県民の身近にスポーツの機会を与え、できるだけ多くの人に利用しても らうため、アマチュア利用については 低料金に設定。また、小中学生はさ らに低料金としている。	県民の身近にスポーツの機会を与え、できるだけ多くの 人に利用してもらうため、アマチュア利用については低料 金に設定。また、小中学生はさらに低料金としている。	他の施設の料金を参考に設定 県民の身近にスポーツの機会を与え、できるだけ多くの人に利用しても らうため、アマチュア利用については 低料金に設定。また、小中学生はさ らに低料金としている。	
Q9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	234,108千円	597,519千円	218,765千円	13,032千円	指定管理料49,851千円	指定管理料60,477千円	指定管理料51,293千円	
Q1	公費投入額	100,831千円	351,583千円	28,442千円	15,270千円	指定管理料49,851千円	指定管理料60,477千円	指定管理料51,293千円	
Q1	施設職員数	常勤9人、非常勤2人	常勤34人(うち3人はアイススケート実施時のみ)、 非常勤6人	常勤6人	常勤1人(臨海スポーツセンターと兼務)	11人	16名	9人	
Q1	その他(同様施設はないものの、同様のサービスを実施されている場合の手法・コスト等についてお教え下さい。)					・館内照明点灯の工夫 ・軽微な修繕の直営化 ・緑地管理業務の一部直営化 ・ニュースポーツ用具の無料貸出	施設整備及び修繕等直営作業の推進 閑散日の場内照明間引き点灯等	施設整備及び修繕等直営作業の推進	

都	道府県名			秋田県			神奈川県	静岡県
Q 1	同様の施設の有無			あり			回答なし	あり
Q 2	施設名称	秋田県スポーツ科学センター	秋田県立向浜·新屋運動広場	秋田県立総合プール	秋田県立総合射撃場	秋田県立武道館		静岡県立水泳場
Q 3	開設年月日	昭和54年2月1日	野球広場H13.4 テニスコートS49.4 新 屋H15.8	平成13年1月1日	平成7年 7月10日	2004年3月21日オープン		平成2年8月20日
Q4	施設で美施してい る主な事業	・スポーツ・健康教室(中高年対象健康体操、トレーニングプログラムによるシェイプアップ、ウオーキング)・体力診断(健康体力づくりコース、動作分析コース、筋力向上コース)		長崎宏子のSWIM TO SMILE! 水中歩行・ベビースイミング教室 大人のための・わんぱく・ジュニア・着衣水 泳教室	中 ・12番口径以下の散弾銃によるクレー標的射撃 【ライフル射撃場】 ・22口径ライフル銃による標的射撃 ・4.5mm口径エアーライフル銃・エアーピスト	通年剣道教室(初・中高・一般)・初心者武道 教室(柔道・少林寺・空手・合気道)一般武道 教室(太極拳) 武道まつり(自主事業)・新春書初め席書大会 (共催事業)・次代を担うこども育成の練成会・ (共催) チームロープジャンプ大会・メタボリック対策教 室		・全国、東海・中部ブロック、県内大会、 合宿等の実施。 (延べ日数127日) ・国体入賞者の指導によるスポーツ教室 (10教室)の開催 ・県民の日シンクロ&飛込公開演技、無 料開放、体験教室
Q5	主な施設内容	1Fトレーニング室:154㎡、2Fトレーニ ング室:86㎡ 1Fウエイトリフティング場:64㎡、4F体	野球広場:144m*144m(4面) 夜間照明 灯8基 テニスコート:クレーコート9面 夜間照明 灯8基 新屋運動広場:ラグビーサッカー場2面 夜間照明灯13基	メインプール:50m×25m 10コース(公認8コース) サブプール:25m×20m 8コース(公認8コース) ダイビングブール:25m×20m 8コース 水量約2700立方メートル 飛び込み台 10m 7.5m 5m 3m 飛び込み板 3m 1m 0.75m トレーニングルーム:ランニングマシン等 会議室:120名収容	【管理棟】受付事務所、利用者休憩室、銃器手入れ室、救護室、会議室、シャワー室 【ライフル棟】受付事務所、銃器保管庫、銃器 手入れ室、審査室、選手控室、シャワー室 【クレー射撃場】日本クレー射撃協会公認AA 級射撃場、トラップ専用射撃場 2面、スキート専用射撃場 2面 【ライフル射撃場】日本ライフル射撃協会公認 射撃場、スモールボアライフル射撃場(50m 26射座)、エアーライフル射撃場(10m 26 射座)	大道場2356㎡(剣道·柔道8面)·小道場528 ㎡·剣道場3面		50m公認プール 50×25m9コース 飛込公認プール 25×25m 観客席2,744席 (うち常設1,944席) トレーニング室
Q 6	管理運営形態	秋田県直営	指定管理者による管理 (指定管理者名) (財)秋田県総合公社	指定管理者による管理 (指定管理者名) (財)秋田県総合公社	指定管理者による管理 (指定管理者名) (財)秋田県総合公社	指定管理者による管理 (指定管理者名) (財)秋田県総合公社		指定管理者による管理 (指定管理者名)静岡県体育協会グルー ブ
Q 7	利用者数(20年度実績)	40,721名	向浜:38,392人 新屋:12,268人	128,219名	ライフル射撃場利用者 554名 クレー射撃 場は休場中	202,098人		99,620人
Q8	料金(料金水準の 考え方)	多くの人に利用してもりため、アマテュ	他の施設の料金を参考に設定 県民の身近にスポーツの機会を与え、 できるだけ多くの人に利用してもらうた め、アマチュア利用については低料金に 設定。また、小中学生はさらに低料金とし ている。	他の施設の料金を参考に設定 県民の身近にスポーツの機会を与え、 できるだけ多くの人に利用してもらうため、 アマチュア利用については低料金に設定。 また、小中学生はさらに低料金としてい る。	他の施設の料金を参考に設定 県民の身近にスポーツの機会を与え、でき るだけ多くの人に利用してもらうため、アマチュ ア利用については低料金に設定。また、小中 学生はさらに低料金としている。	他の施設の料金を参考に設定 県民の身近にスポーツの機会を与え、多く の人に利用してもらうため、アマチュア利用に ついては低料金に設定。また、小中学生はさ らに低料金としている。		競技力の向上及び指導者の養成を図るとともに、県民の健康増進とスポーツの振興を寄与するすることを目的に、アマチュアスポーツの(入場料を徴収しない)場合、低料金に設定。
Q9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	33,038千円	指定管理料32,115千円	指定管理料225,757千円	指定管理料17,172千円	指定管理料81,327千円		管理運営186,008千円 施設修繕 10,510千円 備品購入 630千円 計 197,148千円
Q10	公費投入額	33,038千円	指定管理料32,115千円	指定管理料225,757千円	指定管理料17,172千円	指定管理料81,327千円		178,300千円
Q11		常勤職員数14名、非常勤職員数5名、 臨時職員2名	10人	25名	5名	9人(設備管理者含む)		10人
Q12	その他(同様施設はないものの、同様のサービスを実施されている場合の手法・コスト等についてお教え下さい。)		施設整備及び修繕等直営作業の推進	軽微な修繕に関しては、技術を持った職員による行う 児童用遊具(ビート板、子供用プルブイ・アームヘルパー・すべり台等)の貸出 節水や節電の省エネに努めている	・照明点灯の工夫 ・軽微な修繕の直営化	節電の徹底、除草、除雪、大道場の床補修・ 修繕(職員の手で実施)		

都這	道府県名	静區	到県	愛知県	京都府		兵	車県	
Q 1	同様の施設の有無	あ	si)	あり	回答なし		₽.	לופ	
Q2	施設名称	静岡県富士水泳場	静岡県武道館	愛知県体育館		兵庫県立海洋体育館	兵庫県立弓道場	兵庫県立総合体育館	兵庫県立文化体育館
Q3	開設年月日	平成14年3月15日	平成14年2月28日	昭和39年10月3日		昭和59年4月	昭和63年5月	昭和60年8月	昭和60年6月
Q4	施設で実施してい る主な事業	(延べ日数104日) ・元五輪代表の金戸恵太選手を指導者として招聘 ・利用料金の変更(冬季100円、夜間200円値下げ) ・水泳・飛込の他、ヨガ、エアロビ、体操教	事を実施。 ・剣道、弓道等の武道関係から、ニュースポーツに至るまで、幅広いジャンルの	水泳教室・大会、パドミントン教室・大会、体操教室、パスケットボール教室、サッカー教室 (愛知県体育館スポーツ教室協会が実施)		・指導者養成事業・スポーツ教室	·弓道教室	・指導者養成講座 ・スポーツ教室 ・健康・体力づくり相談	・スポーツ講座 ・文化講座 ・スポーツ医事相談 ・健康体力相談 ・講演会等の実施
Q5	主な施設内容	50.02×25.51m 10コース 可動床:水深0~3m 可動壁: 2分割可能 飛込公認プール 25×25m	大道場 柔剣道6面 観客席 2,040席 第一、第二道場 柔剣道各 2 面 観客席 6200席 弓道場 近的12人立 観客席 105席 相撲場 競技用1面 観客席 110席 トレーニング、室シャワー室、会議室	第1競技場:フロア面積2,468㎡ 第2競技場:フロア面積 704㎡ 練習場(温水プール25㎡・アコース、フィトネスルーム126㎡、トレーニング場104㎡、相撲場100㎡、ボクシング場77㎡) 会議室3室		管理棟(研修室、和室会議室、ミーティングロビー、事務室、他) 第1艇庫(艇庫・船具ロッカー室、更衣室、シャワールーム、トイレ、機械室) 第2艇庫(艇庫、修理ヤード、会議室、奈良県会議室) 出帰艇受付 陸置場(ディンギー平置場、縦置きラック、カヌーラック) 浮桟橋、スロープ、ボートリフター	逸別別場(『人立り)	体育室、会議室、格技室、宿泊室、トレーニング室、研修室、検査室、グラウンド、駐車場	ホール、柔道場、剣道場、研修室、会 議室、トレーニング室、多目的室、 ブール
Q6	管理運営形態		指定管理者による管理 (指定管理者名)静岡県体育協会グルー ブ	指定管理者による管理(非公募) (指定管理者)財団法人愛知県教育·スポーツ振興財団		指定管理者名:財団法人兵庫県体育		指定管理者名:兵庫県体育協会グ	指定管理者が管理 指定管理者名:財団法人兵庫県体育 協会グループ
Q 7	利用者数(20年度実績)	161,179人	314,474人	549,213人		50,114人	22,086人	436,607人	638,903人
Q8	料金(料金水準の 考え方)	競技力の向上及び指導者の養成を図るとともに、県民の健康増進とスポーツの振興を寄与するすることを目的に、アマチュアスポーツの(入場料を徴収しない)場合、低料金に設定。	とともに、県民の健康増進とスポーツの振興を寄与するすることを目的に、アマ	・他の施設の料金を参考に決定 ・施設の設置目的(体育の振興)から、競技場料金は、アマチュアスポーツ利用以外は高い料金設定をしている。		他の施設の料金を参考に設定	他の施設の料金を参考に設定	他の施設を参考に設定	他の施設の料金を参考に設定
Q 9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	管理運営221,174千円 施設修繕 914千円 備品購入 1,057千円 計 223,145千円	管理運営111,170千円 施設修繕 2,058千円 備品購入 280千円 計 113,508千円	294,773千円		59,312千円	7,942千円	195,663千円	301,214千円
Q10	公費投入額		93,338千円	指定管理料(管理運営委託料)150,106 千円、県支出修繕費1,667千円 (20年度)		39,121千円	6,120千円	125,919千円	147,951千円
Q11	施設職員数	11人	10人	11人(20年度)		7人	2人	17人	21人
Q12	その他(同様施設 はないものの、同 様のサービスを実 施されている場合 の手法・コスト等に ついてお教え下さ い。)			-					

都這	道府県名		兵!				 島		
Q 1	同様の施設の有無		<u> </u>	51)			₽.	טופ	
Q2	施設名称	兵庫県立奥猪名健康の郷	兵庫県立円山川公苑	兵庫県立兎和野高原野外教育センター	兵庫県立武道館	島根県立体育館	島根県立武道館	島根県立石見武道館	島根県立プール
Q3	開設年月日	平成4年9月	昭和62年11月	昭和43年4月	平成14年4月	昭和52年4月(平成19年改修)	昭和45年7月(平成12年7月リ ニューアル)	平成9年2月	昭和54年7月(平成15年7月移転)
Q4	施設で実施してい る主な事業	· 自然学校の受け入れ · 野外活動教室	・美術展覧会 ・美術教室・ワークショップ ・スポーツ教室(カヌー・カヤック・水 泳・スケート) ・自然学校の受け入れ	・自然学校の受け入れ・野外体験プログラム・スキー教室	·武道教室	スポーツ教室(体操・ソフトテニス・卓球・バドニントン等) スポーツイベント・大会	なた・レスリング等)	スポーツ教室(柔道・剣道・居合道・ レスリング等) スポーツイベント・大会	スポーツ教室(水泳・トランポリン教 室等) スポーツイベント
Q5	主な施設内容	管理宿泊棟 1棟、浴室 1棟、体育 館、野外炊事棟、ロッジ 5棟 テニスコート(夜間照明無り) 2面、イ ベント広場、親水広場、多目的広場、 冒険の森	ボートヤード、ブール、スケート場、センター広場、美術館、会議室	管理棟、宿泊棟、食堂棟(食堂・浴室)、集会棟、体育館、グラウンド、野外学習棟 早瀬キャンブ場、第2キャンブ場、第3キャンブ場(オートキャンブ場)、第4キャンブ場 木の殿堂、森の工作館、フィールドアスレチック	第1道場、第2道場、会議室、研修室、和室	トレーニング場(314m²)	道場(512畳) トレーニング場(321㎡) 相撲場(屋根付き) 弓道場(近的5人立ち) 観客収容人員1,500人	柔道場(512㎡) 剣道場(512㎡) トレーニング室(100㎡) 体力測定室 健康・体力相談室 観客収容人員680人	50mプール(10コース) 25mプール(屋内8コース) 飛込ブール(屋内8コース) 飛込ブール(25m×22m×5m) 幼児用ブール トレーニングルーム 観客収容人員1,082人(50mプール)
Q6		指定管理者が管理 指定管理者名:株式会社ケントク	指定管理者が管理 指定管理者名:財団法人兵庫県体育 協会	指定管理者が管理 指定管理者名:公益財団法人兵庫県 青少年本部	指定管理者が管理 指定管理者名:財団法人兵庫県体育 協会	指定管理者による管理 (指定管理者名) (財)島根県体育協 会	指定管理者による管理 (指定管理者名) (財)島根県体育協会	指定管理者による管理 (指定管理者名) (財)島根県体育協会	指定管理者による管理 6 (指定管理者名) (財)島根県体育協 会
Q7	利用者数(20年度実績)	85,906人	97,762人	88,439人	520,968人	69,517人	49,761人	3 3 , 4 0 5 人	74,626人
Q8	料金(料金水準の 考え方)	他施設の料金を参考に設定	他の施設の料金を参考に設定	他の施設を参考に設定	他の施設の料金を参考に設定	他の施設の料金を参考に設定 スポーツ振興の観点からアマチュ ア利用については低料金を設定		他の施設の料金を参考に設定 スポーツ振興の観点からアマチュ ア利用については低料金を設定	他の施設の料金を参考に設定 スポーツ振興の観点からアマチュ ア利用については低料金を設定
Q 9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	78,790千円	124,170千円	128,876千円	197,160千円	67,188千円	59,342千円	42,377千円	126,831千円
Q10	公費投入額	61,407千円	110,456千円	118,758千円	175,558千円	67,188千円(指定管理委託料)	59,342千円(指定管理委託料)	42,377千円(指定管理委託料)	126,831千円(指定管理委託料)
Q11	施設職員数	15人	9人	11人	16人	常勤7人	常勤7人	常勤7人(兼務2人)	常勤8人(兼務2人)
Q12	その他(同様施設はないものの、同様のサービスを実施されている場合の手法・コスト等についてお教え下さい。)								

都证	道府県名	徳島県			福岡県		
Q1	同様の施設の有無	回答なし			あり		
Q2	施設名称		福岡県立スポーツ科学情報セン ター	久留米総合スポーツセンター	福岡県立総合プール	福岡県立総合射撃場	福岡県馬術競技場
Q3	開設年月日		H7.6	S 4 9 . 7	H元.5	H元	H元
Q4	施設で実施してい る主な事業		・スポーツの普及および各種研究相談事業等(スポーツ医事・健康体力相談事業、ふれあいスポーツ教室等)・競技力向上事業(タレント発掘事業)	小・中学生、成人を対象としたスポーツ教室の実施	有料スポーツ教室、無料体験スポーツ教室の実施(水泳、アクアエアロビクス等)	・県クレー射撃協会、県猟友会と連携し、公社主催の大会を実施	・馬術大会 ・馬とのふれあい体験事業(体験乗馬等) ・ホースセラピー事業 ・利用閑散期における地元イベントへの協力
Q5	主な施設内容		メインアリーナ、サブアリーナ、多目 的アリーナ、クライミングウォール、 ボルダリングウォール	陸上競技場、補助競技場、体育館、 テニスコート、 野球場、武道場、弓道場 等	50mプール、25mプール、飛込 プール、(冬季スケートリンク)	・ライフル射撃場(エアライフル、 ビームライフル、スモールボアライフル) ・散弾銃射撃場(スキート射撃場、トラップ射撃場) ・大口径射撃場(ライフル銃・散弾銃(スラグ弾))	・障害馬術競技場(メインアリーナ) ・馬場馬術競技場(サブアリーナ)
Q6	管理運営形態		指定管理者による管理	指定管理者による管理	指定管理者による管理	指定管理者による管理	指定管理者による管理
Q7	利用者数(20年度実績)		412,690人	238,176人	142,125人	5,690人	7,239人
Q8	料金(料金水準の 考え方)		定選手、強化指定団体(福岡県選		アマチュアスポーツに利用する場合 や、利用者が入場料を徴収しない 場合は、低料金に設定。 詳細は別紙	個人使用の場合と占用使用の場合	百用使用科 利用時間 (9:00~13:00)、(13:0 0~17:00)
Q9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)		149,031千円	44,074千円	131,259千円	7,726千円	15,020千円
Q10	公費投入額		149,031千円	44,074千円	131,259千円	7,726千円	15,020千円
Q11	施設職員数		10名	12名	4名	3名	2名
Q12	その他(同様施設 はないものの、同 様のサービスを実 施されている場合 の手法・コスト等に ついてお教え下さ い。)						

調査施設分類 (2国際会議 (府施設名称等 5国際会議場))

都	直府県名 直府県名	大阪府	秋田県	神奈川県	静岡県	愛知県	京都府	兵庫県	島根県	徳島県	福岡県
Q1	同様の施設の有無	あり	なし	なし	あり	なし	回答なし	あり	あり	あり	あり
Q2	施設名称	大阪府立国際会議場			静岡県コンベンションアーツセ ンター(グランシップ)			兵庫県立淡路夢舞台国際会議場	産業交流会館	徳島県立産業観光交流センター(アスティと(しま)	福岡県国際文化情報センター (通称「アクロス福岡」)
Q 3	開設年月日	平成12年4月1日			平成11年3月13日			平成12年3月9日	平成5年10月7日	平成5年10月20日	平成7年4月1日
Q4		国際会議、国内会議、展示会、 イベント			施設の貸館業務(大会、会議、 コンサート、各種式典等)、文化 芸術に係る自主企画事業			(1) 国際会議での他の会議、講演会、研修会等のために施設を県民の利用に供すること。 (2) 文化交流、経済交流等のための国際会議その他の会議、講演会、研修会等を開催すること。 (3) 文化活動及びレクリェーション活動のために施設を県民の利用に供すること。 (4) 演劇、音楽、舞踊等に関する鑑賞会を開催すること。 (5) 前各号に掲げるもののほか、国際会議場の目的を達成するために必要か学務	備の提供 (2) 県内産業の振興又は地域 の国際化に資する事業を行う	国内会議、展示会、コンサート	文化振興事業·情報提供事業· 貸館事業
Q 5	主な施設内容	特別会議場(12階)約393㎡ (シアター形式500人) 会議室(10階他)約2,947㎡25 室 (シアター形式10人~600人) メインホール(5~9階)約3,257㎡ (最大2,754席) イヘントホール(3、4階)約2,600㎡ ブラザ(1階)約3,874㎡ (エントランホール含む) 駐車場(B1~B3階)304台 (自走式:132台、機械式172			大ホール(最大4,626席)、中ホール(最大1,209席)、会議ホール、展示ギャラリー、交流ホール、映像ホール、会議室(19室)、練習室、静岡芸術劇場(401席)等			メインホール、イベントホール、アンフィシアター、中小会議室(6室)、討議室(8室)、特別会議室(2室)、レセブションホール(2室)、茶室(2室)、控室(5室) 計28室	大会議室(2室)、特別会議	多目的ホール(1~3階)3,000 ㎡(5,000人収容) 会議室8室;1階に第1~3会議 室(各160%)、2階に第4~6会 議室(各160~180㎡)、3階に 第1、2特別会議室(310~320 ㎡)。 駐車場 534台	福岡シンフォニーホール(1階) 音楽専用ホール(定員1,867) イベントホール(地下2階)多目 的ホール(700㎡) 文化情報ラウンジ(1階・2階) 国際会議場(特別大会議室)(4 階)440㎡(シアター形式300席) 会議室(5階~7階) 16室(スクール形式 21人~69人) 音楽練習室(B2階)5室 25㎡~180㎡
Q6	管理運営形態	指定管理者による管理 (指定管理者名)株式会社大阪 国際会議場			指定管理者による管理(財団法 人静岡県文化財団)			指定管理者による管理 【指定管理者名 20年度:(財)兵 庫県国際交流協会 21年度:(株) 夢舞台】	指定管理者による管理	指定管理者による管理 (指定管理者名) (財)徳島県 観光協会	指定管理者による管理 (指定管理者名)財団法人アクロス福岡
Q7	利用者数(20年 度実績)	896,896人			667,442人			18,857人	365,000人	398,341人	文化情報ラウンジ訪問者数 829,609人
Q8		近隣府県の同種競合施設の平 均料金と同水準			県所管施設共通の使用料積算 基準をもとに、他県や県内同等 施設の料金を参考として決定			近隣の国際会議場における利用料 金水準をベースに指定管理者が条 例の範囲内で算定している。	他県の類似施設の料金水準等を参考に設定 料金体系は下記アドレスに掲載されています http://www.kunibikimesse.jp/fr ame02.html	利用用途により利用料金を設定。 別紙のとおり	・貸館施設・設備の適切な管理 運営に要する経費及び施設の 稼働率の見込みに基づき算出 して、収支が相償う範囲のもの であること。 ・規模、形態等において類似の 施設の同種料金と比較して均 衡のとれたものであること。
Q9	業費	(指定管理者H20年度収支) 収入 1,676,204千円 支出 1,131,961千円			1,519,336千円			341,119千円	参考:H19年度 257,134千円	県:指定管理料290,658千円協会:協会事業費259,781千円計:550,439千円	(指定管理者H20年度収支) 事業活動支出1,150,040千円 事業活動収入1,188,700千円 (内県指定管理委託料297,522 千円)
Q10	公費投入額	(20年度実績) 9,622千円			1,174,634千円(平成20年度決 算)			264,009千円(20年度実績)	H19年度 47,354千円 計画的な大規模修繕費を 支出している。	290,658千円	(20年度実績)297,522千円(指 定管理委託料)
Q11	施設職員数	(20年度常勤役職員数)34名 うち府派遣2名			39人(平成21年度)			13名(20年度実績)	H20年4月1日 13人(正規4 人、嘱託9人)	13人(協会本局兼務職員を3人 含む)	指定管理者職員数(20年度実績)33名
Q12	その他(同様施設はないものの、同様のサービスを実施されている場合の手法・コスト等についてお教え下さい。)	風こと記	秋田県、秋田市等出資による 材団法人秋田観光コンベンション協会が、秋田市の補助金などを財源に、国際会議・国内会議等向けに県内の会館やホテル等の情報を提供している。							http://www.asty-tokushima.jp/	

調査施設分類 (3情報管理 (府施設名称等 6 インターネットデータセンター))

都道		大阪府	秋田県	神奈川県	静岡県	愛知県	京都府	兵庫県	島根県	徳島県	福岡県
Q1	同様の施設の有無	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
Q2	施設名称	大阪府立インターネットデータセンター(eおおさかiDC)									
Q 3	開設年月日	平成15年7月1日									
Q 4	ル政で天地してい	レンタルラック・開発室サービス、エスクローサービス、コネク ティビティ等									
Q 5	主な施設内容	・無停電電源設備 ・開発室 ・エスクロー室 ・事務室、機械室 ・高度なセキュリティを確保した 入退室管理 ほか									
	管理運営形態	指定管理者による管理 (指定管理者名)株式会社大阪 エクセレント・アイ・ディ・シー									
Q7	利用者数(20年度 実績)	68事業者									
	料金(料金水準の 考え方)	類似施設・サービスの料金を参考に設定									
Q 9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	380,693千円									
Q10	公費投入額	0円									
Q11	施設職員数	セキュリティ保持のため公表せ ず									
Q12	その他(同様施設はないものの、同様のサービスを実施されている場合の手法・コスト等についてお教え下さい。)										

調査施設分類 (4特許情報提供 (府施設名称等 7特許情報センター))

都道府県名	大阪府	秋田県	神奈川県	静岡県	愛知県	京都府	兵庫県	島根県	徳島県	福岡県
Q1 同様の施設の有無	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
Q2 施設名称	大阪府立特許情報センター									
Q3 開設年月日	平成8年4月1日									
Q4 施設で実施してい る主な事業	(1)特許情報の収集·提供事業 (2)特許流通促進事業 (3)府庁内知的財産管理事業 (4)特許情報活用支援事業									
Q5 主な施設内容	閲覧室、研修会議室、書庫、ホー ル等									
Q6 管理運営形態	直営									
Q7 利用者数(20年度 実績)	特許情報閲覧者数:5,890人 特許流通促進事業来訪相談件 数:326件 特許情報活用支援事業来訪相 談件数:570件 特許情報活用講座受講者数: 478人									
Q8 料金(料金水準の 考え方)	特許公報類は無料で閲覧に供することが特許庁からの特許公報 類交付の条件となっている。									
施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	141,941千円									
Q10 公費投入額	141,941千円									
Q11 施設職員数	常勤10人、非常勤7人									
その他(同様施設はないものの、同様のサービスを発施されている場合の手法・コスト等さいてお教え下さい。)		【秋田県知的所有権センター】・財団法人あきた企業活性化センター内に設置 <21年度予算 > 3,758,780円・(財)あきた企業活性化センター補助金(内訳)アドバイザーの活動経費事務所の維持管理費 <配置人員 > ・特許流通アドバイザー1名・・特許情報活用支援アドバイザー1名・・補助職員1名	【神奈川県知的所有権センター】 本所:県産業技術センター 支所:県立川崎図書館 ・財団法人神奈川科学技術アカデミー ・社団法人発明協会神奈川県 支部 <21年度予算額> 2527万円(人件費、各施設維持経費含まず。) <配置、人員> 本所:特許情報活用支援アドバイザー1名 (限)神奈川科学技術アカデミー・特許情報活用支援アドバイザー1名 (財)神奈川科学技術アカデミー・特許情報活用支援アドバイザー1名・特許流通アドバイザー1名	ター] ぬまず産業振興プラザ [静岡県知的所有権センター] (社)発明協会静岡県支部 [静岡県浜松地域知的所有権センター] はままつ産業創造センター 浜松市産業情報室 < 県支援(H21年度) > 県内3箇所の知的所有権センター、TLO実施機関に総額 12,987千円の支援を行っている。 < 配置人員 > [静岡県東部知的所有権センター) ・特許流通アドバイザー1名・特許情報活用支援アドバイ	置 <21年度予算額 > 4.442干円(特許流通AADの人件費は除く。) <配置人員 > ·特許流通アドバイザー2名(国) ·特許情報活用支援アドバイザー	<21年度予算>金額:12,000千円(発明協会委託費) 内容:サポートセンター運営費 (特許流通AD活動費等)8,000千円、知恵の経営推進事業費 4,000千円 <配置人員>・特許流通AD1名・特許流通AAD1名・特許計報活用支援AD1名・特許出願AD1名	(知的所有権センター] (財)新産業創造研究機構 (社)発明協会兵庫県支部 < 21年度予算 > (財)新産業創造研究機構 補助金:4,588千円(21年度人件 費及び活動費) (社)発明協会兵庫県支部 補助金:300千円(AD活動費) < 配置人員 > (財)新産業創造研究機構 職員数:6名 うち・時許清報活用支援アドバイザー 1名 (社)発明協会兵庫県支部 特許情報活用支援アドバイザー 1名 (社)発明協会兵庫県支部 特計情報活用支援アドバイザー 1名	[島根県知的所有権センター] しまね知的財産総合支援センター ((財)しまね産業振興財団を管理団体に指定) マラ算額 > 32,000千円 (H20決算を活用支援事業(特許流通立援・特産活用支援事業 発明協会事業 型13,000千円 (税) と配置人員 > 常勤6人、 特許情報を選出の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の	特許情報活用支援アドバイ	[福岡県知的所有権センター] 本部(福岡県中小企業振興センター内) 北九州支部((財)北九州産業学術推進機構中小企業支援センター内) 久留米支部((株)久留米ビジネスブラザ内) <21年度予算>(補助金) 本部:21,312,000円北九州支部:01円(市が補助を出して福岡県は人を配置) して福岡県は人を配置) <配置人員> 本部:6名(センター長、情報AD、流通ADは非常技術とのは、表別、表別、を表別、を表別、を表別、を表別、を表別、を表別、表別、表別、表別、表別、表別、表別、表別、表別、表別、表別、表別、表別、表

AD:アドバイザー AAD:アシスタントアドバイザー CD:コーディネータ

調査施設分類 (5都市公園 (府施設名称等 8~25府営公園))

都	道府県名	大阪府	秋田県	神奈川県	静岡県	愛知県	京都府	兵庫県	島根県	徳島県	福岡県
Q1	同様の施設の有無	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし	あり	なし	_
Q 2	施設名称	都市公園(18公園)	都市公園(3公園)	都市公園等(29公園等)	都市公園(7公園)	都市公園(12公園)	都市公園(4公園)	都市公園(18公園)	都市公園(3公園)	都市公園(8公園)	都市公園(9公園)
Q3	開設年月日		昭和50年~平成6年にかけて 順次開設	昭和32年以降順次開設	昭和38年~平成17年まで順次 開設	昭和32年以降順次開設	昭和42年~平成7年まで順次 開設	明治33年~平成19年まで順次 開設	昭和49年~昭和57年にかけて 順次開設	昭和22年~平成19年にかけて 順次開設	明治9年~平成17年まで順次 開設
Q4	施設で実施してい る主な事業	都市公園施設の管理・運営	都市公園施設の管理・運営	都市公園施設の管理・運営	都市公園施設の管理・運営	都市公園施設の管理・運営	都市公園施設の管理・運営	常都市公園施設の管理・運営	都市公園施設の管理・運営	都市公園施設の管理・運営	都市公園施設の管理・運営
Q 5	主な施設内容	都市公園施設	都市公園施設	都市公園施設	都市公園施設	都市公園施設	都市公園施設	都市公園施設	都市公園施設	都市公園施設	都市公園施設
Q6	管理運営形態	指定管理	指定管理	指定管理および直営管理	指定管理および直営管理	指定管理	指定管理および直営管理	指定管理	指定管理	指定管理および直営管理	指定管理
Q 7	利用者数(20年度 実績)	20,056,632人	897,651人	13,129,701人	3,431,477人	5,728,536人	2,388,000人	11,506,868人	1,444,234人	1,350,920人	不明
Q8			施設の利用料金は 秋田県立都市公園条例に よる。	公園施設の利用料は近傍 の類似施設の料金を参考 に算出している	県内・他県の類似施設の使 用料を参考に、使用料を設 定している。	近傍類似施設との比較、物価の変動率など	URL	施設の維持管理費、他の 類似施設料金を考慮し算定	施設の維持管理費、他の 類似施設料金を考慮し算定	料金水準の考え方(施設減価償却又は維持管理費をもとに算出)	類似施設及び近隣施設を 参考に料金を設定
Q 9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	3,332,503千円	452,226千円	2,372,736千円	1,849,333千P	2,023,261千円	1,172,214千円	2,298,797千円	405,773千円	1,331,350千円	896,580千円
Q10	公費投入額	2,932,171千円	452,226千円	2,372,736千円	1,647,601千円	1,586,065千円	853,467千円	1,605,411千円	351,327千円	1,314,005千円	791,351千円
Q11	施設職員数	指定管理者制度を導入して いるため、県の職員はいない。	34人	304人	107人	指定管理者制度を導入しているため、県の職員はいない。	62人	270人	26人	58人	61人
Q12	その他(同様施設 はないものの、同 様のサービスを実 施されている場合 の手法・コスト等に ついてお教え下さ い。)										

調査施設分類 (6登山駐車場 (府施設名称等26金剛登山道駐車場))

都道	道府県名					大阪府	秋田県	神奈川県	静岡県	愛知県	京都府	兵庫県	島根県		徳島県	福岡県
Q1	同様の施設の有無					あり	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし		あり	なし
Q2	施設名称					大阪府立金剛登山道駐車場	秋田県営玉川園地駐車場							見」越集団施設		
Q3	開設年月日					昭和42年	昭和43年							昭和50年~		
Q4	施設で実施している	5主な事業				駐車場の利用に関する業務(受付等) 駐車場の維持管理業務(清掃等)	駐車場の管理運営 ・利用に関する業務(受付等) 使用の許可、場内誘導・案内、 利用料金の収受(H21~) ・維持管理業務(清掃等) 利用期間 4月下旬~11月上旬							施設の維持管理		
Q5	主な施設内容					面積 3.3ha 管理棟 1棟 公衆トイレ 2棟 バスターミナル 1式 収容台数 第一駐車場 188台 第二駐車場 160台	面積 0.38ha 管理詰所 1棟 収容台数 84台							面積 公衆トイレ 駐車場 収新)駐車場 第1駐車場 第2駐車場 第3駐車場	13,600㎡ 1棟 4箇所 普105台 普147台,大7台 普60台,大12台 普40台	
Q6	管理運営形態					指定管理者による管理 (指定管理者名)千早赤阪村	指定管理者による管理 (指定管理者名)田沢湖高原リフト株式会社							市へ委託		
Q7	利用者数(20年度実	ミ績)				利用台数 21,359台	利用台数 30,644台									
Q8	料金(料金水準の考	 ぎえ方)				類似駐車場の料金体系等を参照して決定	駐車場の管理運営に直接係る経費相当分を基に積算							無料		
					施設使用料	13,015	0								0	
			Я	府県収入	行政財産目的外使用料 雑入	0	0								0	
					合 計	13,015	0								0	
				14	管理運営委託料	7,467	3,683								0	
		府県の	府	指定管理者	補助金・委託料	<u>0</u> 7,467	0 3,683								0	
		収支	県	その他法人	補助金·委託料	0	3,000								0	
					その他	0	0								1,000	\
					<u>주 하</u> 合 計	7,467	3,683								1,000	
			府県支	出 - 府県収入		-5,548	3,683								1,000	
			府県支	出	補修費	0	0								100	\
			11371-X1	Щ	施設使用料	0									0	_
	施設運営に係る委				管理運営委託料	7,467	3,683								0	
Q9	託料等 20年度		\ <u></u>	指定管理者	補助金·委託料 自主事業収入	0	0								0	
	(千円)		法人		その他	0	0								0	-
			ЦZ		小計	7,467	3,683								0)
			_ ^	スの供注し	補助金・委託料		0)
					その他 小計	0	0							+	0)
		指定管理者 等の			合計	7,467	3,683								0	
		等の 収支			施設維持費 人	4,900	770								0	
					官 理 きの他	2,582	2,913 0								0	
			法	指定管理者	小町	7,482	3,683								0	
			人		事業費	0									<u>-</u>)
			支出		その他 小計	0 7,482	0 3,683								0	
				その他法人	事業費等	0)
				この旧仏人	<u></u>										0	
	1			<u> </u>	合計 一般財源	7,482	3,683						1			-
	公 費投 λ 額				国庫補助金		0.1575									-
Q10	公費投入額 (億円)		建設時	の財源内訳	起債その他	-	-		 				-	1		-
					計	-	0.315									0
Q11	施設職員数(名)		本部 現地			1	1								(0
	-		ᅜᄱ			'	Z	•						1		<u> </u>
Q12	その他(同様施設は同様のサービスを実場合の手法・コスト等教え下さい。)	尾施されている				特になし	・平成21年度から指定管理料と利用料金による施設運営・公費投入額について、平成15年度の全面改修事業費とした。財源内訳では起債充当額が不明であるため空欄とした。・施設職員数について、仕様で現地常駐を2名とするほか特に定めがないため、本部職員数は事務相当職1名とした・平成21年度からの利用料金額は1台につき1回100円							特になし		

調査施設分類 (7 考古博物館 (府施設名称等 27 弥生文化博物館、28 近つ飛鳥博物館、29 近つ飛鳥土記の丘))

都			 大阪府		;	秋田県	神奈川県静岡	引県 愛知!	京	 都府
Q1	同様の施設の有無		あり			あり	回答なしな			51)
Q2	施設名称	大阪府立弥生文化博物館	大阪府立近つ飛鳥博物館	大阪府立近つ飛鳥風土記の丘	秋田県立博物館	秋田県埋蔵文化財センター			京都府立山城郷土資料館	京都府立丹後郷土資料館
Q3	開設年月日	平成3年2月2日	平成6年3月25日	昭和61年6月1日	昭和50年 5月 5日	昭和56年10月1日			昭和57年6月17日	昭和45年10月1日
Q4	る主な事業	常設展示、特別・企画展示、資料貸出、講演会、コンサート、ミニギャラリー、博物館実習、職場体験、博学連携セミナー、体験学習、出前授業、出張講座、研究事業、図録・研究報告等の刊行	常設展示、特別・企画展示、資料貸出、講演会、ミニギャラリー、博物館実習、職場体験、体験学習(工作、館内ツアー)、出前授業、出張講座、研究事業、図録・研究報告等の刊行	古墳見学会、考古学教室(石室の実測等)、体験学習(修羅引き、勾玉つ(り等)、古墳時代まつり		・国、県関連開発事業に伴う発掘調査・秋田県甘粛省文化交流事業・遺跡調査報告会、遺跡見学会、職場体験、企画展、古代体験広場、ふるさと考古学セミナー、縄文発見ワクワク体験			普通展示(常設展、企画展)、特別展示(期間限定)、文化セミナー(歴史を歩く、糸紡ぎ絣織り、古文書)、ふるさと文化体験事業(発掘体験、古代生活体験)、出前講座、図録等の刊行、保存科学処理	普通展示(常設展、企画展)、特別展示(期間限定)、文化財講座、古文書講習会、ふるさと文化体験事業、紙すき教室、ジュニアクラブ、出前講座、図録等の刊行
Q 5	主な施設内容	セミナー室(30名・82㎡)、写真 室(59㎡) 1階:ホール(140名・145㎡)、サロン (113㎡)、ロビー(279㎡)、会議室 (16名・56㎡)、事務室(58㎡)、学芸 室(117㎡)、館長室(29㎡)	階:常設展示室(410㎡)、普及ゾーン(362㎡)、ロビー(256㎡)、特別収蔵庫(159㎡)、2階:学芸室(112㎡)、		敷地面積:14,886㎡、延べ床面積:11,946㎡ 1階:講堂(260㎡)、学習室(103㎡)、実験教室(97㎡)、収蔵庫(321㎡)、自然展示室(600㎡)、菅江真澄資料センター展示室(464㎡)、2階:人文展示室(1037㎡)、企画展示室(691㎡)、わくわくたんけん室(333㎡)、秋田の先覚記念室(495㎡)、事務室(250㎡)、館長室(39㎡)、3階:収蔵庫(840㎡)、大会議室(158㎡)、研究作業室(全7室、238㎡)	(センター)1階:特別展示室(188㎡)、玄関ホール(90㎡)、事務室(64㎡)、所長室(33㎡)、第1整理室(245㎡)、未器保存処理室(40㎡)、鉄器保存処理室(21㎡)、機械室(32㎡) 2階:第1研修室(94㎡)、第2研修室(73㎡)、第2整理室(294㎡)、写場(32㎡)、第1収蔵庫(360㎡)、第2収蔵庫(298㎡)、駐車場(普通車40台)(中央調査班)1階:収蔵展示室(295㎡)、講堂兼多目的スペース(1,180㎡)、事務室(31㎡)、大会議室(66㎡)、図書室(66㎡)、小会議室・物品庫(58㎡)、遺物収蔵室(330㎡)、整理室(198㎡)、乾燥室(68㎡)、体験学習室兼洗浄室(200㎡) 2階:職員室(126㎡)、第1展示室(156㎡)、企画展示室(63㎡)、遺物収蔵室(3760㎡)、資料室(92㎡)、3階:遺物収蔵室(760㎡)、資料室(92㎡) 駐車場(普通車28台)			本館 鉄筋コンクリート3階 ・1階:管理室(22㎡)、保存科学室(39㎡)、燻蒸室(33㎡)、 ・2階:展示室(299㎡)、第1研修室(181㎡)、事務室(50㎡)、館長室(50㎡)・3階:第2研修室(49㎡)、研究室(88㎡)、資料整理室(56㎡)、第1収蔵庫(308㎡)、第2収蔵庫(290㎡)、第3収蔵庫(61㎡)	本館 鉄筋コンクリート2階一部地下 1階 ・地階:倉庫(85㎡)、 ・1階:第1展示室(259㎡)、第1収蔵庫 (51㎡)、第2収蔵庫(103㎡)、第3収蔵庫(48㎡)、事務室(57㎡)、館長室(31㎡)、作業室(35㎡)、資料室(35㎡)、2階:第2展示室(105㎡)、第1研修室(163㎡)、第2研修室(49㎡) 旧永島家住宅(木造2階 移築復原) 生活文化体験学習の場として平成7年6月利用開始 (延べ床面積198㎡)
Q6	管理運営形態	指定管理者による管理 (指定管理者名) (財)大阪府文化財 センター	指定管理者による管理 (指定管理者) (財)大阪府文化財センター	指定管理者による管理 (指定管理者) (財)大阪府文化 財センター	県直営	県直営			直営	直営
Q7	利用者数(20年 度実績)	45,717人	100,604人	83,019人	95,019人	5,311人			9,819人	11,005人
Q8	料金(料金水準の 考え方)	準としている。 ・博物館法第23条で、公立博物館の	・近隣府県の同種施設の料金と同水準としている。・博物館法第23条で、公立博物館の利用は原則として無料と定められている。	府立公園の入園は無料	無料 常設展・企画展 有料 特別展のみ(入館料の上限 一般600 円、高校・専門学校・大学生400円、小・中学 生200円) ・秋田県立博物館条例第4条入館料等の徴 収で、特別の展示を行う場合は、入館料を 徴収すると定めている。 ・博物館法第23条で、公立博物館の利用は 原則として無料と定められている。				円 特別展示 一般250円、児童生徒70 円	普通展示 一般200円、児童生徒50円 円 特別展示 一般250円、児童生徒70円 (京都府立郷土資料館条例施行規則)
Q 9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	146,647千円	165,254千円		管理運営費 107,254千円 事業推進費 15,334千円 (平成20年度決算)	26,121千円			80,346千円 人件費51,197千円 運営費13,003千円 展示事業費1,036千円 保存科学費15,110千円	60,084千円 人件費47,471千円 運営費10,916千円 事業費 2,190千円
Q10) 公費投入額	140,922千円	157,339千円		122,588千円(平成20年度決算)	26,121千円			80,346千円	60,084千円
Q11	施設職員数	常勤6人、非常勤1人	常勤7人、非常勤1人		常勤23人、非常勤23人、臨時2人(平成20年度)	31人			6人	6人
Q12	その他(同様施設 はないものの、同 様のサービスを実 2 施されている場合 の手法・コスト等に ついてお教え下さい。)									

都道府県名		兵庫県		島根県		徳島県	福岡県
Q1 同様の施設	设の有無	あり		あり		なし	あり
Q2 施設名称	兵庫県立歴史博物館	兵庫県立考古博物館	八雲立つ風土記の丘	古代出雲歷史博物館	古墳の丘古曽志公園		九州歷史資料館
Q3 開設年月日	日 昭和58年4月1日	平成19年4月1日	昭和47年	平成19年3月	平成元年		昭和48年2月
Q4 施設で実施 る主な事業	主催し、及びその開催を援助すること。 (3) 博物館資料に関する研究等のために博物館の施設をしていさせること。 (4) 博物館資料の利用に関して必要な説明、助言及び持行うこと。 (5) 博物館資料に関する専門的、技術的な調査研究を行と。 (6) 他の博物館等との相互協力を行うこと。	資料」 真、フィルム、テープ等の資料(以下「博物館資料」という。)を収 こと。 集し、保管し、展示し、及びこれを県民の利用に供すること。 会等を (2) 古代文化に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主 催し、及びその開催を援助すること。 (3) 博物館資料に関する研究等のために博物館の施設を県民 の利用に供すること。 (4) 博物館資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導を 行うこと。	を 資料の収集、保管及び展示 が立びに資料に関する専門的な 調査研究に関する業務(常設 展、企画展、風土記の丘教室 等)	歴史及び文化に関する資料(以下「資料,という。)を収集し、保管し、調査研究し、及び展示して、島根の特色ある歴史及び文化 関する情報を発信し、並びに学習及び交流の機会を提供する (常設展、企画展、しめ縄・銅剣作り等各種体験講座開催ほか)	こ公園機能の提供		常設展示、特別・企画展示、 資料貸出、講座、博物館実 習、職場体験、博学連携セミ ナー、体験学習、出前授業、 研究事業、図録・研究報告等 の刊行、発掘調査、保存科学
Q5 主な施設内:	敷地面積:6145.00㎡、延床面積:7585.29㎡ 施設内容:ギャラリー(956㎡)、ロビー(526㎡)、ライブラリー ㎡)、展示室:シアター(899㎡)、ホール(158㎡)、体験ルー㎡)、事務管理室(97㎡)	敷地面積: 5544.33㎡、延床面積: 8690.36㎡ 施設内容: エントランス(663㎡)、体験展示室 「発掘ひろば」(276 ㎡)、テーマ展示室(822㎡)、特別展示室(204㎡)、特別収蔵庫 (124㎡)、一時保管庫(64㎡)、一般収蔵庫(748㎡)、研究室(109 ㎡)、調査室(135㎡)、遺物整理室(567㎡)、保存処理室(104㎡)、 写真撮影室(62㎡)、書庫(138㎡)、講堂(200㎡)、体験学習室(26㎡)、考古学情報プラザ (188㎡)、事務管理室(134㎡)	・資料館(鉄筋コンクリート造 一部中2階)982.2㎡ ・映像資料室(鉄筋コンクリート造平屋)274.79㎡ ・ガイダンス山代の郷(鉄筋コンクリート造平屋)564.01㎡ 8・その他(ポンブ室、便所、休憩室、風土記植物園)	· 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨 造 · 11,575㎡	・古墳13基(うち模型2基)、 野外ステージ、野外展示広場 等 約52,000㎡		地階:機材室(30.6㎡)、考古 資料庫(596.53㎡) 1階:応接室(40.2㎡)、事務室 (47.23㎡)、館長室(37.34 ㎡)、副館長室(24.97㎡) 2階:展示室(729.8㎡)、ロ ビー(60㎡)、 3階:学芸室(120㎡)、保存科 学室(60.72㎡)、歴史資料特 殊品庫(191.66㎡)、考古資料 庫(133.66㎡) 駐車場(普通車10台)
Q6 管理運営形	形態 県直営	県直営	指定管理者制	・誘客、広報、施設管理等については指定管理者制。 ・展示業務、調査研究業務については、県直営	北宁华丽州		直営
Q7 利用者数(2 度実績)	2 0年 211,971人	111,639人	26,469人	310,175人	把握せず		10,464人
Q8 料金(料金/ 考え方)	:水準の ・近隣府県の同種施設の料金と同水準としている。 ・博物館法第23条で、公立博物館の利用は原則として 無料と定められている。	・兵庫県立歴史博物館及び近隣府県の同種施設の料金と同水準としている。 ・博物館法第23条で、公立博物館の利用は原則として無料と定められている。	、 大人:個人200円、団体160円 学生;個人100円、団体80円 小中学生:無料	常設展 大人個人600円、団体480円、大学生個人400円、団体480円、大学生個人400円、団体320円、児童個人200円、団体160円(他県の同程度規模の公立美術館等並びで設定)	ない場合-900円/時、料金を徴収しない場合-900円/時、料金を徴収する場合-1,830円/時)		無料
施設運営に Q9 業費 (20年度実績	158.918(千円)	827,982(千円)	79,984千円(人件費、維持補修費、減価償却費、償還金利子等)	835,434千円(人件費、維持補修費、減価償却費、償還金利子等)	28,559千円(人件費、物件費、減価償却費等)		28,381千円
Q10 公費投入額	類 158,918(千円)	827,982(千円)	78,014千円(一般財源)	701,697千円(一般財源)	28,549千円(一般財源)		28,381千円
Q11 施設職員数	数 25人(正規17人、その他8人)	105人(正規43人、その他62人)	指定管理6名(正規職員3名、	県職員14名、指定管理26名 「(常勤3,アテンダント20,管理 等3)	0人(常駐職員はないが、朝 夕巡回実施)		15人(H21/7/1現在)
その他(同様はないものの様のサービルができます。 Q12 施されているの手法・コスついてお教えい。)	Oの、同 ビスを実 Nる場合 スト等に						

調査施設分類 (8青少年活動(宿泊施設)・野外活動 (府施設名称等 30ファミリー棟))

都這	道府県名	大阪府	秋田県	神奈川県	静岡県	愛知県	京都府	兵庫県	島根県	徳島県	福岡県
Q1	同様の施設の有無	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
Q 2		大阪府立青少年海洋センターファミリー棟(マリンロッジ海風館)									
Q3	開設年月日	平成6年7月23日									
Q 4	施設で実施してい る主な事業	宿泊及びレストラン事業等									
Q5	主な施設内容	定 員:80人 宿泊室:2室(8人)·2室(5人)· 12室(4人)·2室(2人)·2室(1 人) 附帯施設:広間、グル・プワ・ クル・ム、多目的ホ・ル、展望 風呂他、テニスコ・ト2面、駐車 場(52台)									
Q6	管理運営形態	指定管理者による管理 (指定管理者名)ナンブフードサービ ス(株)									
Q7	利用者数(20年度実績)	10,643人									
y °	考え方)	類似施設(国民休暇村、アイ・アイ・ランド(四条畷市)等)を参考									
Q 9	施設運営に係る事	138,598千円									
	業費 公費投入額	10,300千円				+	+	1			-
		常勤9人					<u> </u>	<u> </u>			
Q12	その他(同様施設 はないものの、同 様のサービスを実 施されている場合 の手法・コスト等に ついてお教え下さ い。)										

調査施設分類(8 青少年活動宿泊施設 (府施設名称等 31 少年自然の家))

都		大阪府		 秋田県		神奈川県				
Q1	同様の施設の有無	あり		あり		あり			あり	
Q2	施設名称	大阪府立少年自然の家	秋田県立大館少年自然の家	秋田県立保呂羽山少年自然の 家	秋田県立岩城少年自然の家	清川青少年の家	静岡県立朝霧野外活動セン ター	静岡県立観音山少年自然の 家	静岡県立三ケ日青年の家	静岡県立焼津青少年の家
Q3	開設年月日	昭和60年6月1日	昭和49年4月1日	昭和53年4月1日	昭和58年6月1日	昭和58年4月1日	昭和44年9月27日(平成8年2月 28日全面改築)	昭和48年6月15日(平成19年3 月15日耐震補強工事実施)	昭和36年5月27日(平成3年3月 25日全面改築)	昭和37年7月6日(昭和63年6月 30日全面改築)
Q4	る主な事業	小学生わくわくキャンプ、乗馬体験と臨床動作法(知的障がいのある子ども達とその家族の一日体験)	スターウォッチング(春夏秋冬)、山の学校ネイチャースクール、夏のアドベンチャー、野外活動ボランティア、大文字と花火鑑賞ナイト、オカリナ音楽祭、宿泊通学学級、自然まるごとツアー、サンタと雪山ファンタジーナイト、山の学校スキースクール、大館長根山冬祭り	エンジョイカヌー、アドベン チャースピリット、みんなでキャンプ、星降る夜のスターウォッチング、チャレンジキャンプ、秋の保呂羽山を楽しもう、秋味&ハイキング、おもしろサイエンス、ほろわDEクリスマス、スノーワンダーランドin保呂羽、冬となかよし、保呂羽音楽祭、タッチ陶芸	キャンプ、あつまれ風の子~冬	団体生活を通して、自主と連帯 意識の高揚を図るとともに、青 少年指導者の養成、青少年の	小中学校集団宿泊研修の受入れ事業 主催事業 朝霧高原サマーキャンプ、オリエンテーリングin朝霧、ブラネタリウム一般開放、アイススケート一般開放	小中学校集団宿泊研修の受入れ事業 主催事業 冒険王国in観音山、ちびっこワンパクキャンブ、我ら観音山探 検隊、ふれあいファミリーDAY	レッノくッノスホーフ、浜石崎い キハき発目の田 近夕知わ(わ	小中学校集団宿泊研修の受入 れ事業 (サパニ型カヌー研修他海洋活動) 主催事業 チャレンジスクール、しおさい キャンブ、エンジョイ家族、シニア向けパソコン講習会
Q5	主な施設内容	宿泊棟400人 宿泊室(8人) × 50室、テント200人、研修室3、 体育館1、野外炊飯場、キャン プファイヤー場他	宿泊棟(196人:12人×16室、ハリアフリー室、和室) 研修室2、視聴覚室、レクリエーションホール、浴室、食堂キャンプ場(テント150人)、野外炊事場、プロジェクトアドベンチャー	宿泊棟(200人:12人×19室、パリアフリー室、リーダー室) 研修室2、視聴覚室、レクリエーションホール、浴室、食堂キャンプ場(テント200人)、野外炊事場、プロジェクトアドベンチャー、カヌー場、天体ドーム、陶芸窯	1日 日本 (220人・12人 × 14至、 ハリアフリー室10人 × 2室、8人 × 4室、)、研修室2、創作実習室、体育館、浴室、食堂	本館 宿泊室50人(6人×8室、 控室2人×1室)、研修室1、集 会室1、談話コーナー1他 体育館1、屋外炊事場、広場 (キャンプファイアー可)他	宿泊棟(定員200人)、キャンプ場(延400人)、多目的体育館(1階アイススケートリンク)、キャンプセンター1棟、キャンプファイアー場、野外炊飯場	宿泊棟(定員200人)、多目的 ホール、民族資料館	宿泊棟(定員150人)、ログハウス5棟(延50人)、体育館、ヨットハーパー、艇庫、キャンプファイアー場、グランドゴルフ場	
Q6	管理運営形態	指定管理者による管理 (指定管理者名) 財団法人大阪 ユース・ホステル協会	県直営	県直営	県直営	県による直営施設	指定管理者による管理 (指定管理者名) 日本キャンプ 協会グループ		県直営 平成22年度から指定管理者に よる管理 (指定管理者名)㈱小学館集英 社プロダクション	県直営
Q7	利用者数(20年度実績)	90,793人(うち宿泊53,826人)	26,870人 (うち宿泊者12,767人 学校利 用者は、17,215人で64%)	17,720人 (うち宿泊者14,596人 学校利 用者は、11,934人で67%)	17,678人 (うち宿泊者14,087人 学校利 用者は、10,833人で62%)	7,585人	延65,830人(うち宿泊55,556人) 小中学生団体利用25,037人 全体の38%	延36,912人(つ5佰旧35,5/1 人) 小中学生団体利用26,469人 全体の72%	延42,866人(うち宿泊39,421人) 小中学生団体利用26,123人 全体の61%	延46,789人(うち宿泊39,330人) 小中学生団体利用23,443人 全体の50%
Q8	料金(料金水準の 考え方)	類似の宿泊施設(府立他府県立)の料金体系を参照 国立少年自然の家・青年の家 は無料	利用料は、無料	利用料は、無料	利用料は、無料	宿泊費・施設利用料:無料 シーツクリーニング代:236円/ 人 食事:自炊が原則だが、調理を 依頼した場合には要材料費及 び賄賃金 (食事材料費:朝食350円、昼食 450円、夕食550円、野外炊事 450円) (賄賃金:34人以下の利用: 5,000円/1食、35人以上の利 用:7,500円/1食、野外炊事の 場合:1,000円/1回)	1人1泊(宿泊棟) 勤労青少年800円 大学生高校生800円 小中学生幼児200円 指導者 引率者800円	類似施設の料金体系を参照 1人1泊 勤労青少年 450円 大学生高 校生 450円 小中学生幼児 150円 指導者	校生 800円 小中学生幼児 200円 指導者	類似施設の料金体系を参照 1人1泊 動労青少年 450円 大学生高校生 450円 小中学生幼児 150円 指導者 引率者 450円 その他の者 750円 減免規程あり
Q9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	234,300千円	14,697千円	23,145千円	19,803千円	67,557,833円	指定管理費(常勤職員等人件 費相当額を含む) 110,781千円	県直営管理運営費(常勤職員 等人件費相当額を含む) 99,666千円	県直営管理運営費(常勤職員 等人件費相当額を含む) 124,820千円	県直営管理運営費(常勤職員 等人件費相当額を含む) 123,386千円
Q10	公費投入額	77,269千円	14,697千円	23,145千円	19,803千円	67,557,833円	利用者一人当たりの県費投入 額 2,300円	利用者一人当たりの県費投入額 2,700円	利用者一人当たりの県費投入 額 2,912円	利用者一人当たりの県費投入 額 2,637円
Q1	施設職員数	常勤16人、非常勤5名	10人	10人	10人	9人(うち1名は臨時雇用職員: アルバイト)	常勤職員9人、非常勤職員2人	常勤職員8人	常勤職員8人、非常勤職員6人	常勤職員8人、非常勤職員2人
Q12	その他(同様施設はないものの、同様のサービスを実施されている場合の手法・コスト等についてお教え下さい。)		然や文化とのふれあい体	教育施設の人的・物的機能を十分に活用し、学校と教育施設が一体となって、郷土の自然や文化とのふれあい体験・共同生活体験、各教科や総合的な学習の時間の取り組みを複合的に実施する教育施設の「セカンドスクール的利用」を促進している。	然や文化とのふれあい体					

都	道府県名		愛知県		京	都府		兵庫県		島根県
Q1	同様の施設の有無		あり		₽.	51)		あり		あり
Q2	施設名称	愛知県青年の家	愛知県美浜少年自然の家	愛知県旭高原少年自然の家	京都府立南山城少年自然の家	京都府立るり渓少年自然の家	兵庫県立奥猪名健康の郷	兵庫県立兎和野高原野外教育センター	兵庫県立円山川公苑	島根県立少年自然の家
Q3	開設年月日	昭和34年1月10日 (平成6 年5月1日全面改築)	平成元年5月1日	平成元年5月1日	昭和48年7月18日	昭和58年4月27日	平成4年9月	昭和43年4月	昭和62年11月	昭和50年度
Q4	施設で実施してい る主な事業	八ル争表 国士活動士将車業	小中高等学校等集団宿泊研 修の受入れ事業 自然を楽しむ親子のつどい 指導者のための研修 一般開放	小中高等学校等集団宿泊研 修の受入れ事業 自然に親しむ親子のつどい 指導者のための研修	自然体験学習	自然体験学習	· 自然学校の受け入れ · 野外活動教室	·自然学校の受け入れ ·野外体験プログラム ·スキー教室	・美術展覧会 ・美術教室・ワークショップ ・スポーツ教室(カヌー・カヤック・水泳・スケート) ・自然学校の受け入れ	登山や、アスレチックコース「冒険の森」、広大な敷地を活用したスコアオリエンテーリング、火起こし体験など、主に小中学生や家族など野外活動の初心者にも安心して自然体験をしてもらえるよう周到に準備した体験学習プログラムを提供。 小学校の百泊体験活動の支援(県内小学校のうち学校数で40%、生徒数で60%のシェアがある) 家族や親子を対象とした交流・体験事業(チャレンジ・ザ・サマー、子ども探検隊、エンジョイ・ザ・オータムなど)を主催
Q 5		研修室7室、宿泊室45室(180人)、情報相談コーナー、 交歓ロビー、体育館	研修室10室、宿泊室48室 (500人)、講堂、体育館、 テニスコート	(500人)、体育館、講堂、工	定員182人 RC-2 宿泊室1 4室・リーダー室2室・ブレイ ホール・研修室他	定員300人 RC-1(一部二階 建て) 宿泊室18室・リーダー 室4室・プレイホール・研修室・ テントサイト他	管理宿泊棟 1棟、浴室 1棟、体育館、野外炊事棟、ロッジ 5棟	管理棟、宿泊棟、食堂棟(食堂・浴室)、集会棟、体育館、グラウンド、野外学習棟早瀬キャンブ場、第2キャンプ場、第3キャンブ場(オートキャンブ場)、第4キャンブ場 木の殿堂、森の工作館、フィールドアスレチック	ボートヤード、ブール、スケート場、センター広場、美術館、 会議室	宿泊棟221人 水星・金星・火星・木星・ 土星 各43人(3+10×4) 地球 6人(2 +4) ケピン64人、テント56人、研修室3、体育 館1、炊飯場2、ファイヤー場3、冒険の 森、活動センター、創作棟、研究棟(プラ ネタリウム)ほか
Q6	管理運営形態	(指定管理者名)特定非営利	指定管理者制度による管理 (指定管理者名)財団法人愛 知県教育・スポーツ振興財団	1. 徂龙台连台台 / 别凶太人爱	指定管理者による管理(京都府 少年教育振興会)	指定管理者による管理(京都府 少年教育振興会)		指定管理者が管理 指定管理者名:公益財団法人 兵庫県青少年本部	指定管理者が管理 指定管理者名: 財団法人兵 庫県体育協会	県直営(一部業務を委託(財団法人島根 県文化振興財団))
Q7	利用者数(20年度実績)	23,111人(宿泊人数)	52,480人(宿泊人数)	53,321人(宿泊人数)	17,921人	16,111人	85,906人	88,439人	97,762人	26,053人(うち宿泊22,732人) 延べ研 修者数
Q8		類似施設の料金体系を参照 1人1泊につき : バス・トイレ なし 1,400円 バス・トイレ 付 1,800円	1人1泊につき : 中学生以 下: 700円	1人1泊につき : 中学生以 下: 700円 その他:	小中学生300円·高校生500 円·大学、一般1,000円·日帰 リ利用1団体2,000円その他 家族利用料金あり。(食費・冷 暖房費別):類似の宿泊施設の 料金体系・物価水準による。	家族利用料金・キャンプ場使用		他の施設を参考に設定	他の施設の料金を参考に設定	局校生以下は無料(料金設定なし。たたし、シーツ代として1人1回170円を徴収。) 宿泊利用の場合 一般 県内者 1人1泊につき1,030円 県外者 1人1泊につき1,540円 日帰り利用は、研修室等の箇所別・時間帯別で料金設定 (料金水準の考え方) 他県等の類似施設(同種同規模)を参考に決定。ただし、経済主要指標(物価や給与水準、地価
Q 9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	87,633千円	156,545千円	153,288千円	64,459,375円	73,509,153円	78,790千円	128,876千円	124,170千円	<u>等)の変動に伴う使手料目直上の検討を</u> 64,549千円(うち委託料49,119千円)
Q10) 公費投入額	45,561千円	98,927千円	106,515千円	52,449,304円	62,327,115円	61,407千円	118,758千円	110,456千円	60,260千円(=支出64,549千円-収入 4,289千円)
Q1	施設職員数	19人	11人	11人	5人	4人	15人	11人	9人	18人
Q12	その他(同様施設はないものの、同様のサービスを実施されている場合の手法・コスト等についてお教え下さい。)									

都追	前原県名	徳島県	福岡	剛県
Q 1	同様の施設の有無	あり	あ	וו
Q 2	施設名称	徳島県立牟岐少年自然の家	福岡県立社会教育総合センター 毎回県立社会教育総合センター少年自然の家	福岡県立少年自然の家「玄海の家」
Q3	開設年月日	昭和60年7月1日	昭和59年4月1日	昭和49年6月1日
Q4	施設で実施してい る主な事業	年の団体の指導者の研修に	・ゆずフェスティバル(地域 住民等への学習機会提供)	1参加者体験事業 玄海!海遊シリーズ(春・夏・秋) 等2共催・後援事業 シニアキャンプ3指導者養成事業 ボランティア研修 等
Q5	主な施設内容	キャンプ場(29,00㎡) プレイホール(930㎡) プール棟(829㎡) 海の学習室(135㎡) 海の科学室(135㎡) 研修室(274㎡)	宿泊室 316ベッド、研修室 6、和室2、体育館、講堂、プレイホール、視聴覚室、音楽室、美術室、野外炊飯場等	宿泊室 (ベット200人、和室 7室)、キャンプ場(100人)、 研修室(6)、体育館、集会 室、野外炊飯場、キャンプファ イヤー等
Q6	管理運営形態	指定管理者による管理	直営	直営
Q7	利用者数(20年度実績)	14,876人(実人数)	113,313人	41,320人
Q8	料金(料金水準の 考え方)	利用料金制 (類似施設の料金を参考に設 定) (教育課程の利用の場合、基 本料金が無料)	1人1泊につき1,180円 研修室等使用料は土地価 格・建物価格及び光熱水費を もとに使用面積に応じて設定	無料
Q9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	75,700千円(指定管理料)	78,286千円	40,760千円
Q10	公費投入額	75,700千円(指定管理料)	4,321,475千円	475,649千円
Q11	施設職員数	23人(含 パート)	常勤19名 非常勤12名	常勤 9 名 非常勤 7 名
	その他(同様施設はないものの、同様のサービスを実施されている場合の手法・コスト等についてお教え下さい。)			

調査施設分類 (8 青少年活動(宿泊施設)・野外活動 (府施設名称等 32 青少年海洋センター)

都证	道府県名	大阪府	秋田県	奈川県	静岡県	愛知県	京都府	兵庫県	島根県	徳島県	具 福岡県
Q 1	同様の施設の有無	あり	なし	なし	なし	なし	あり	なし	あり	なし	なし
Q2	施設名称	大阪府立青少年海洋センター					京都府立青少年海洋センター		島根県立青少年の家		
Q 3	開設年月日	昭和50年7月20日					昭和57年5月1日		平成3年度		
Q4	施設で実施してい る主な事業	ヨットやカヌー等の海洋性スポーツ活動事業、おおさかキッズパス ポート事業等					宿泊事業、体験学習事業		宍道湖を活用した自然体験学習プログラムや宿泊体験活動、研 修の支援等		
Q5	主な施設内容	定員:宿泊300人 日帰り200人 宿泊室:36室(8人用)、6室(2人用)、食堂、スタッフルーム 体育館:812㎡ 集会展示棟:集会室6、展示室、資料室他 駐車場(20台)					【管理・研修棟】研修室4室(20名×2室、40名×2室)、講堂(200名)、事務室、ロビー、食堂 【宿泊棟】定員225名:宿泊室20室(定員200名)、リーダー室5室 (定員25名) 【その他】海の科学館、芝生の広場、フィールドアスレチックコース、ミーティングコア、カッター(4隻)他(B&G施設(宮津市):体育館、プール)		宿泊棟209人 洋室、和室(大·小)、リーダー室 多目的ホール、研修室5、体育館1、創作室2、調理室、音楽室、茶室、和室研修室、談話室、ファイヤー場、屋外創作棟、バーベキューハウス、艇庫ほか		
Q6		指定管理者による管理					指定管理		○施設の維持管理について指定管理者による管理をH19から導入 ○各種体験プログラムの提供(研修計画の立案)や主催事業の実施は県直営(指定管理者はその補助的業務を行う)		
Q7	利用者数(20年度 実績)	59,695人(うち宿泊33,991人)					宿泊利用者17,795人		53,988人(うち宿泊研修者41,263人)		
Q8	料金(料金水準の 考え方)	・施設使用料は類似施設(京都府立青少年海洋センター、大阪市 立びわ湖青少年の家等)を参考 ・舟艇等のプログラム料金は、減価償却費及びプログラム運営経 費により設定					指定管理者による提案(上限は条例で規定) 具体的料金は以下を参照 http://www5.ocn.ne.jp/~marinpia/riyoukinn.html		他県等の類似施設(同種同規模)を参考に決定。ただし、経済主要指標(物価や給与水準、地価等)の変動に伴う使用料等の見直しの検討を3年に1回実施。 具体的料金は以下を参照 http://www.pref.shimane.lg.jp/seishonennoie/index.data/09tebiki.pdf		
Q9	施設運営に係る事						92,813千円		77,782千円(うち指定管理料58,704千円)		
	* 左=1.150 = *b	150,461千円 常勤34人					92,813千円 常勤7人 非常勤1人		68,196千円(=支出77,782千円 - 収入9,586千円) 21人(うち嘱託含む県費職員18人)		1
	その他(同様施設はないものの、同様のサービスを実施されている場合の手法・コスト等についてお教え下さい。)	非常勤1人						いえしま自然体験センターは、平成19年5月、環境学習センター等を新設し、カロリニューアルボーツのたた。海洋のではないので、類似施設とはしていない。			

調査施設分類 (9 図書館 (府施設名称等 33 中央図書館、34 中之島図書館))

都	道府県名	大阪	反府	秋田県	神奈川県	静岡県	愛知県	京都府	兵庫県	島根県	徳島県	福岡県
Q 1	同様の施設の有無	あ	ŋ	あり	回答なし	あり	回答なし	あり	あり	あり	あり	あり
Q2	施設名称	大阪府立中央図書館	大阪府立中之島図書館	秋田県立図書館		静岡県立中央図書館		京都府立図書館	兵庫県立図書館	島根県立図書館	徳島県立図書館	福岡県立図書館
Q3	開設年月日	平成8年5月10日	明治37年3月1日	平成5年11月2日		大正14年4月1日		平成13年5月	昭和49年10月	昭和21年12月(昭和25年12 月に現名称となる)	平成2年4月1日(現施設での 開設日)	昭和58年4月1日
Q4	施設で実施してい る主な事業	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に供するとともに、府域市町村図書館への支援事業及び生涯学習事業の実施	資料を収集し、整理し、保存して一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に	図書、記録その他必要な 資料を収集し、整理し、保 存して、一般公衆の利用 に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に 資する。(図書館法第2 条) - 条例には規定なし		1 資料の充実整備 調 査研究のための資料、市 町立図書館等への援助・協力を中心とした資料整 備 2 図書資料の利用促 進、レファレンスサービ ス、視聴覚活動、図書館 利用教育 3 市町立図書館への支 援		図書等必要な資料を収集し整理保存するとともに、一般の利用に供し、生涯学習及び調査研究等に供するとともに、府域市町村図書館及び学校図書室等への支援の実施	(1) 図書館資料を収集 し、整理し及び保存すること。 (2) 他の図書館及び図書 室、公民館、博物館等との 相互協力を行うこと。 (3) 図書館資料に係る調 査相談に応ずること。 (4) 前各号に掲げる業務 のほか、図書館の目的を達 成するために必要な業務。	(学校司書等養成研修ほか) ・図書館情報システム(横断検索 システム含む)の管理運営 ・団体等貸出 ・高齢者・障害者郵送等貸出	図書、記録その他の資料を収集し、及び県民の利用に供すること 他の公立図書館、図書室等と緊密に連絡し、協力し、及び図書館資料の相互貸借を行うこと 他	教育を援助し、及び家庭教育の向上に資することになるように留意し、図書館法第3条各号に掲げる事業を実施している。
Q 5		(380席、1,568㎡)、大会議 室(72席、163㎡)、会議室 (30席、48㎡)、駐車場	m ²)、文芸ホール(148 m ²)、自習室(96席、178	書庫(3,400㎡)、閲覧室(1,862㎡)、多目的ホール(180㎡)、会議室(88㎡)、図書整理室(168㎡)、事務室等(262㎡)		閲覧室(180席、1552.56 ㎡)、書庫(延2,008㎡)、 子ども図書研究室(92㎡) 事務室(596㎡)電算室 (96㎡)等		延床面積7,478㎡(内閲覧室等1,710㎡、書庫1,776㎡) 収蔵規模(開架書架10万冊、自動化書庫40万冊、積層集密書架100万冊)	面積 8,129㎡	ホール(9席、544.92㎡)、こども室(30席、227.96㎡)、中央カウンター・第1一般資料室(53席、686.97㎡)、第2一般資料室(66席、169.70㎡)、学習室・第3一般資料室(計4年度、229.32㎡)、郷土資料室(9席、227.10㎡)、参考資料室(22席、112.32㎡)、コンピュータ室(97.50㎡)、館外奉仕室(156.06㎡)、集会室(123.30㎡)、荷解室(20.16㎡)、事務室等(378.9㎡) 書庫(計1,830.82㎡)ほか	開架スペース、収蔵スペース、 管理スペース、機械・設備ス ペース 他 計8,989㎡	・敷地面積 4,982㎡ ・本館 地下1階・地上5階建 閲覧室(第1・第2 92席 1,356㎡)、青少年と暮らしの交流室(13席 198㎡)、郷土資料室(24席245㎡)、レクチャールーム(200席237㎡)、書庫(3,526㎡)、事務室等(3,505㎡)・別館 地上5階建 子ども図書館(15席 500㎡)、研修室(2室 48席・20席 173㎡)、学習室(142席 202㎡)、録音図書室(93㎡)、ボランティアルーム等(9室 185㎡)、事務室等(2,116㎡)・駐車場(17台+障がい者等2台)
Q6	管理運営形態	直営	直営	直営		直営		直営	県直営	県直営	県直営	直営
Q7	実績)	入館者数628,124人 貸出点数1,071,506点	入館者数306,769人 貸出点数142,504点	入館者数 485,176人 貸出冊数 393,545冊		244,570人		入館者317,816人 累計登録者74,184人 個人貸出者105,150人	170,441人	入館者数 285,541人	534,883人	入館者数 382,396人 貸出冊数 254,637冊
Q8		利用料無料(図書館法第17 条)ただし、ホール、会議 室、駐車場は有料	利用料金は無料(図書館 法第17条)	無料		利用料金は無料(図書館 法第17条)		利用者無料	利用料無料(図書館法第17 条)	利用料金は無料(図書館法第 17条)	無料	目的による利用者区分なし 利用料無料(図書館法17条)
Q 9	施設運営に係る事業費 (20年度実績)	1,072,538千円	405,770千円	162,420千円		運営費 81,278千円 管理費 30,288千円 資料充実費 100,000千円		(収入)複写料金収入3,735千円 (支出)建物維持管理費92,587 千円 情報ネットワークシステム推進 費84,740千円 図書資料購入 費47,500千円 連絡協力車運 行費9,712千円 図書館費計 234,539千円	99,905(千円)	112,921千円	103,812,076円	233,762千円
Q10)公費投入額	1,072,538千円	405,770千円	162,420千円		1,943円(利用者一人当た リ)		230,804千円(人件費及び臨時経費(地区別研修)を除き、複写料会関入相当額を美しました。	99,905(千円)	111,035千円	103,812,076円	本館 2,484,715千円 別館 459、329千円
Q1		常勤68人(司書53人) 非常勤20人(司書16人)	常勤24人(司書16人) 非常勤28人(司書26人)	42名		37名		常勤職員 31人、 非常勤職員 16人	38人(正規30人、その他8 人)	31人	一般職員23名、臨時補助員1 1名、非常勤職員6名 計40名 (国の経済対策による緊急雇 用者及び日々雇用者を除く)	常勤33名、非常勤20名
Q12	その他(同様施設 はないものの、同 様のサービスを実 施されている場合 の手法・コスト等に ついてお教え下さ			なし								

調査施設分類 (10 土木技術展示(博物館法適用外)(府施設名称等 35 狭山池博物館))

都道	道府県名	大阪府	秋田県	神奈川県	静岡県	愛知県	京都府	兵庫県	島根県	徳島県	福岡県
Q1	同様の施設の有無	あり	なし	なし	なし	なし	なし	あり	なし	あり	なし
Q2	施設名称	大阪府立狭山池博物館						仁川百合野町地すべり資料館		福井ダム資料館	
Q3	開設年月日	平成13年3月28日						平成9年11月18日		平成7年7月4日	
Q4	施設で実施してい る主な事業	常設展示						常設展示		福井ダム建設事業内容の説明 及び阿南市の観光·物産の展 示	
Q 5	主な施設内容	1階:常設展示室(1,815m²)、特別展示室(219m²)、一般収蔵庫(159m²)、特別収蔵庫(56m²)、書庫1·2(計86m²)、写真室(19m²)、セミナー室(29m²) 等2階:情報コーナー(111m²)、ロビー(84m²)、ホール(126席・154m²)、会議室(32m²)、学芸員室(89m²) 等3階:喫茶コーナー(88m²)、ロビー(22m²) 等主な常設展示・狭山池の堤(高さ約15m、幅約60m)・東樋(長さ約60m)、中樋(石棺、重源碑を含む)…いずれも府指定文化財						1階:研修室、資料庫、事務室、 宿直室・・・206.79㎡ 2階:自動観測システム観測 室、模型・写真展示室 , ・・・ 201.03㎡ ビデオ映像・パネル展示・ジオラマ模型が見れる		1階:常設展示室 徳島県県管理分(87m2) 福井ダム模型·水のQ&A·降雨体験施設·水の恵み·オヤニラミの説明パネル・福井町の民話説明パネル・福井町の民話説明パネル	
Q 6	管理運営形態	直営						県が、シルバー人材センターへ 資料館の管理を委託。		直営	
Q 7	利用者数(20年度 実績)	82,598人						6,293人		3,054人	
Q8	料金(料金水準の 考え方)	利用料無料 (本博物館は、税負担により運営しており、収益施設ではないこと、また、博物館の目標として「土木事業の歴史的役割に関する府民の理解を深めるとともに、府民の文化的向上に資すること」を掲げており、多くの府民に利用していただく観点から入館料を徴収していない。)						無料 (地すべりの自動観測システム 監視等の有効利用を図ったも のであるため)		無料	
Q9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	140,528千円						あり		あり	
Q10	公費投入額	140,528千円						非公開		1,775 (千円)	
Q11	施設職員数	4人						1名		委託2名	
	その他(同様施設はないものの、同様のサービスを実施されている場合の手法・コスト等についてお教え下さい。)										

調査施設分類 (11 植物展示 (府施設名称等 36 花の文化園))

都	道府県名	大阪府	秋田県	神奈川県	静岡県	愛知県	京都府	Ą	庫県	島根県	徳島県	福岡県
Q1	同様の施設の有無	あり	なし	あり	なし	なし	あり		あり	あり	なし	なし
Q2	施設名称	大阪府立花の文化園		神奈川県立フラワーセンター大船植物園			京都府立植物園	兵庫県立フラワーセンター	淡路夢舞台公苑温室 (奇跡の星の植物館)	花ふれあい公園 「しまね花の郷」		
Q3	開設年月日	平成2年9月25日		昭和37年7月16日			大正13年1月1日	昭和51年4月	平成12年3月18日	平成16年4月24日		
Q4		花とみどりの文化サロン、花いっぱいの街? りボランティア養成講座、花の写真コンテス 等	. ト	観賞植物に係る展示会・品評会、各種園芸教室、園芸相談、種苗交換、優良種苗の増殖・ 保存等			花と緑の文化活動事業、植物園魅力向上事業、四季の彩り事業、名月観賞の夕べ開催等	花の栽培・展示、花に関する知識の普及及び 栽培技術の指導、花に関する相談、花に関す る資料を収集・保管・展示・県民への提供、 花に関する講習会・研修会・展示会等のため に施設を県民に提供	・又化活動及びレクリエーション活動のために施設を県民の利用に供すること ・演劇、音楽・舞踊等に関する鑑賞会を開催すること ・植物を栽培し、展示すること ・植物に関する知識の普及を行うこと	花きの展示 花きにふれあうためのイベントおよび体験 教室 地域ボランティアと連携した植栽管理		
Q 5	主な施設内容	大温室 (2059㎡) センタ - 棟 (756㎡) イベントホール (402㎡) 花の工房 (357㎡) エントランスゲート (182㎡) レストラン (210㎡)		本館(1,109㎡) 常設展示場(131㎡) 第2展示場(156㎡) レストハウス(137㎡) 即売場(45㎡) 観賞温室(1,335㎡)			休憩所(61㎡)	展示温室(1,971㎡) 事務所棟(511㎡) 展示ホール(451㎡) レストラン(991㎡) 花・特産品売店(570㎡)	温室(延床面積約6,700㎡) 指定管理者に対しては温室に隣接する野外 劇場等も含めて指定管理。Q9の金額は野外劇 場等も含めた金額。	主要施設 本館棟(635㎡) 温室棟(683㎡) 花壇(約7,000㎡) 植栽植物 樹木類約150種、草花類約400種、 年間28万本程度の花を植栽		
Q6	管理運営形態	指定管理者による管理 (指定管理者名)財団法人 大阪府みどり2 社		県直営 (レストハウス、即売場は民間事業者等に目 的外使用許可)			京都府直接運営	指定管理者による管理	指定管理者による管理	指定管理者による管理		
Q7	利用者数(20年度 実績)	175,	519	276,134			768,074	183,157	204,158	59,198		
Q8	料金(料金水準の 考え方)	入園料 (30人以上各2割引、ただし年間パスポートをのぞく)・(2月~11月) 高校生等:1人1回300円 大人:1人1回500円・(12、1月) 高校生等:1人1回200円 大人:1人1回300円・(12、1月) 高校生等:1人1回200円 大人:1人1回300円・年間入園パスポート 1,500円・小中学生・障がい者:無料施設使用料(1日につき)・園芸室1,200円・工芸室1,400円・コ芸室2,300円・第1研修室1,500円・第2研修室2,000円・イベントホール 4,400円 [料金水準の考え方] 近傍の類似施設の立地条件や経営規模、各種用料、利用者数などのデータを参考に使用料を定	使	入園料 65歳以上 100円(20人以上の団体 100円) 20歳以上65歳未満 350円(20人以上の団体 300円) 20歳未満・学生 250円(20人以上の団体 200円) 高校生 100円(20人以上の団体 100円) [料金水準の考え方] 類似施設の入園料や維持管理経費などを参考にするとともに、年齢等に配慮して料金や年齢要件等を見直す。 (65歳以上及び高校生は、平成21年7月1日から有料化した。)			入園料 ・一般: 一般: 一般: 一般1人1回200円、高校生1人1回150円、 小中学生1人1回80円 ・団体(小学生以上30名以上): 一般1人1回160円、高校生1人1回120円、 小中学生1人1回60円 ・回数券(11枚綴り): 一般2,000円、高校生1,500円、 小中学生800円・温室観覧料(団体、回数券及び共通入園券の扱いない) 一般1人1回200円、高校生1人1回150円、 小中学生1人1回80円・ ・駐車場使用料: 普通自動車1台1回800円、パス1台1回2,500円 植物園及び陶板名画の庭の共通入園券、 入園料・温室観覧料の減免制度有 【料金水準の考え方】類似施設の立地条件や経営規模、各種使用料、利用者数などを参考に設定	入園料(20人以上2割引) 大人500円、中・高生300円、小学生150円 駐車料金(1日につき) 乗用車500円、大型パス1,600円、 マイクロパス800円 施設使用料(1日につき) 研修室1,000円、会議室600円 [料金水準の考え方] 近隣の類似施設の入園料、駐車料、施設使用料を参考に設定	温室入館料(団体20人以上:各2割引き) [通常展] 大人1人1回600円 生徒等(中・高校生)360円 児童等(小学生)180円 [特別展](次の基準額に0.5から1.5まで範囲内 で乗じた金額) 大人1人1回1,500円 生徒等(中・高校生)900円 児童等(小学生)450円 【料金水準の考え方] 近傍の類似施設の立地条件や経営規模、各種使 用料、利用者数などのデータを参考に使用料を設定 している。	一般:大人200円、小人100円(団体割引有) 年間パスポート:大人1,000円、小人500円		
Q9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	248,	871	48,993			109,171	279,696	328,208	87,738		
Q10	公費投入額	162,	712	84,340			615,964	201,723	235,047	79,193		
Q11	施設職員数	常勤5人 非常勤11人(すべて嘱託職員)		32			36	39	3	13		
Q12	その他(同様施設はないものの、同様のサービスを実施されている場合の手法・コスト等についてお教え下さい。)											

都道府県名					大阪府					秋田県			
Q1 同様の施設の有額	無				あり					あり			
Q2 施設名称			· · ·		大阪府民の森〈ろんど園地ほか8園地	大阪府民の森ほりご園地		立県百年記念の山	秋田県営玉川温泉ビジターセンター		秋田県営鉾立山荘	<u> </u>	→秋田県営秋田駒ヶ岳情報センター
Q3 開設年月日					昭和53年~平成3年	平成15年	昭和44年	昭和47年	平成5年	昭和42年	昭和43年3月	昭和60年10月	平成18年3月
Q4 施設で実施してい	\る主な事業	¥.			案内所、キャンブ場等施設の維持管理 植生の保育管理 巡視、利用者への指導・啓発 自然ふれあい活動の実施 等	発提供 フロント業務、利用料金の徴収 等 施設の維持管理 農地・園路、植生の保育管理	業	植栽地の下刈り、広場の整備 利用者の案内、説明	ビジターセンターの管理運営 ・利用に関する業務 施設案内、展示物説明、 地域情報提供、自然公園利用啓発 ・維持管理業務(清掃等) 利用期間 4月下旬~11月上旬	・維持管理業務(清掃等)	山荘の管理運営 ・利用に関する業務 使用の許可、使用料の徴収 来館者への案内等 ・維持管理業務(清掃等)	にファーセファーの管理連昌 ・利用に関する業務 展示物等の管理 来館者への案内等 ・維持管理業務(清掃等)	情報センター(展示施設)の管理 運営・利用に関する業務 展示物等の管理 来館者への案内等 ・維持管理業務(清掃等)
Q5 主な施設内容					面積 613ha 6種 64 6 6 6	面積 4ha 信泊棟 10棟 管理棟 2棟 7棟 1棟 1棟 1棟 4棟 1棟 4棟 1,680 平米 キャンブ場 5,000 平米 農地	面積 21.64ha 管理棟 1棟 遊歩道 6,700m 水飲場 4箇所 東屋 2棟 便所 3箇所 広場・樹園地等 5.2ha キャンブ場 2.0ha	面積 14.55ha 東雇 1棟 便所 1箇所 広場 1.00ha 沼 0.13ha 植栽地 13.42ha	面積 0.16ha ビジターセンター 1棟 駐車場 2箇所 遊歩道 1路線、700m	山荘(延床面積) 1棟(367㎡) 発電機庫 1棟	山荘 (延床面積) 1 棟 (200㎡) 発電機庫 1 棟	ビジターセンター 1棟 (述床面積) (378㎡)	情報センター 1棟 (延床面積) (351㎡) 駐車場 1箇所
Q6 管理運営形態					指定管理者による管理 (指定管理者名)(財)大阪府みどり公社	指定管理者による管理 (指定管理者名)(財)大阪キリスト教青年会	直営	直営	指定管理者による管理 (指定管理者名)株式会社玉川サー ビス	指定管理者による管理 (指定管理者名)由利本荘市	指定管理者による管理 (指定管理者名)にかほ市	指定管理者による管理 (指定管理者名)にかほ市	指定管理者による管理 (指定管理者名)株式会社アロマ 田沢湖
Q7 利用者数(20年度	 [実績]				来園者数1,441,147	来園者数36,535 宿泊者数6,919		常駐の管理人がいないため把握していない	利用者数18,788人	宿泊者数382人	宿泊者数935人	入館者数17,144人	入館者数84,211人
Q8 料金(料金水準の)考え方)				キャンプ場等について、実費程度を徴収	類似野外活動施設の料金体系 等を参照して決定	全施設無料	全施設無料	無料			無料	無料
				施設使用料		うを参照UC決定 0 0	0		0	523	1,281	(0
				行政財産目的外使用料	4,77	5 0	0	(, <u> </u>	0	0	(`
				建物貸付収入 国庫負担金			0						
			府県収入	乗馬補助金			0		•	•			
				雑入		0 0	0		•	0			'
				造林負担金 一般会計繰入金			0		*				`
		L		合 計	4,77		0	(0	523	1,281	(0
	皮膚へ		化宁竺甲士	管理運営委託料	222,36		0		0,020	1,232			0,100
	府県の 収支		指定管理者	補助金·委託料 小計	222,36	0 0 88 31,000	0		•	1,232	1,232		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		,	その他法人	補助金·委託料	*	0 0	4,486	924		· ·	0	(0
		府県		総務費			0		•	•			·
		支山		管理諸費 元金			0		•	0	•	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u>'</u>
		出	直接	利子			0	(0		0	(0
				公債諸費その他		0 0	2,179		*		<u> </u>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
施設運営に係る発	委	L		合計	222,36	• •	6,665			1,232		,	`
Q ₉			出 - 府県収入		217,59		6,665		5,626	709			3,100
(千円)	-	府県支	щ T	補修費 施設使用料	1,70	0 3,500 0 16,872			· · ·	0	•	`	'
				管理運営委託料	222,36		0	(5,626	1,232	1,232	(3,100
			指定管理者	補助金·委託料 自主事業収入		0 0 0 33,659	0		0	0	0 350	(<u>'</u>
		法人		日土争業収入		0 33,659	0		0 0 152	1,575			•
		収		小計	222,36		0		5,778	2,807	3,282	1,331	3,100
		^	その他法人	補助金·委託料 その他		0 0	0		•	0	·		0
	指定管理	1	.=2/ 3	小計		0 0	70	70	0	0	0	(0
	者等の 収支			合計 施設維持費	222,36 82,48	- 1	70			2,807 648	-, -		
				人件費	105,28								
		法	北宁 竺亚士	畳 その他	23,80		0		•	0		()	•
		人	指定管理者	事業費	211,58 10,78		0			2,807			2,798
		支出		その他	·	0 0	0	(0	0	0	(0
			その他法人	小計 事業費等	222,36	81,720	0		0,110	2,807	3,282	1,331	2,798
				合計	222,36	8 81,720			•	2,807			2,798
				一般財源 国庫補助金		3.5	-			0.72	0.42	0.3	1 1.0 0.8
Q10 公費投入額 (億円)		建設時	の財源内訳	起債		- 6.5	<u> </u>						- 0.8
(四川)				その他 計			-					-	-
011 旋轨磁导数/23		本部		ĮūΙ	1	30 19 5 1	2		26.36	0.72	0.42 1 1	0.4	2 2.5
Q11 施設職員数(名)		現地			特になし	•	1		1	5	5 3		3
その他(同様施設 の、同様のサーヒ れている場合の引 についてお教え下	ごスを実施さ F法・コスト等						特になし	特になし	・公費投入額について、建設、展示 製作事業費(県単)とした。財源内 訳では、起債充当額が不明である ため空欄とした。 ・施設職員数について、仕様で現地 常駐を1名とするほか特に定めがな いため、本部職員数は事務相当職 1名とした。				

都i	都道府県名 Q1 同様の施設の有無 Q2 施設名称 Q3 開設年月日				秋	田県	神	奈川県		静岡県		愛知県		
Q1	同様の施設の)有無						あり		あり		あり		あり
Q2								奥森吉青少年野外活動基地			県立森林公園	県立森林公園森の家	県民の森	面 / 木公園施設 茶臼山公園施設(キャンプ場)
Q3	施設で実施し	ている主な	事業				・普及啓発に関する業務施設の貸出、施設案内、自然観察会の開催、各種研修会の開催	地域情報提供、自然公園利用啓発	植生の保育管理 巡視、利用者への指導・啓発	施設の清掃、点検、補修等の維持管理等	昭和40年 ビジターセンター施設等の運営・ 維持管理 園地の保育管理 巡視、利用者への指導・啓発 自然ふれあい活動の実施 等	平成4年 研修宿泊施設等の運営業務 研修宿泊施設等の維持管理	等施設の運営・維持管理 園地の保育管理 巡視、利用者への指導・啓発	1972年04月01日(昭和47年) 1982年07月01日(昭和57年) ビジターセンターや休憩所の 維持管理 管内案内、利用案内 利用促進、広報に関する業務 施設内巡視及び利用指導に 関する業務 加設の利用を内、接週 利用促進、広報に関する業務 施設内巡視及び利用指導に 関する業務 関する業務
Q5	主な施設内容	ŧ					・愛鳥山荘 1棟 ・文化の館 1棟 ・キャンプ場 1式	面積 487.69ha 野外活動センター 1棟 競子キャンブ場 60区画 クマゲラ保護セソター 1棟 浄水施設 1棟 公衆ドイレ 2棟 広場等 約26ha	駐車場 3箇所 研修・展示室等 1棟 木材工芸センター 1棟 森林ふれあいセンター 1棟 あずまや等施設 14棟 林道 903m 育種施設(採種園・集 4箇所 6.9ha 植所)	本館 宿泊室 定員30人 (6室) 林業塾ホール 定員100人 (テープト・イ ス・黒板・ビデオ等) 炊事室 (炊飯器・ガスコケ)・冷蔵 庫・レジ・等の炊事用具 シャワー室 一式・食器類の用意有	面積 30.9ha 30.9ha ビジターセンター 1棟 1棟 公園会館 1棟 公園会館 2箇所 2箇所 2箇所 2箇所 2世広場 13箇所 親水広場 2箇所 14 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		面積 283ha 管理棟 1棟 ロッジ 1棟 ログハウス 15棟 65サイト 65サイト 数板棟 3棟 県民の森センター 1棟 駐車場 4箇所	面積 52ha 面積 7.7ha ビジターセンター 1棟 キャンブ場 1箇所 上ストハウス 1棟 管理棟 1棟 保憩所 2棟 駐車場 1箇所
Q6	管理運営形態	100					指定管理者による管理 (指定管理者名)むつみ造園土木 (株)	指定管理者による管理 (指定管理者名)NPO法人冒険の鍵クーン	指定管理者による管理 (指定管理者名)株式会社足柄グ リーンサービス	指定管理者による管理 (指定管理者名)企業組合丹沢ホーム	指定管理者による管理 (指定管理者名)静岡県立森林 公園運営協議会	指定管理者による管理 (指定管理者名20年度指定管理者 東海ビル管理㈱) (21年度指定管理者 ㈱ヤタロー)	指定管理者による管理 (指定管理者名)井川森林組合	指定管理者による管理 (指定管理者名)豊田市 (指定管理者名)(財)休暇村 協会
Q7	利用者数(20	年度実績)					2,355	利用者数2,358人	来園者数 44,144人		来園者1,015,000人	宿泊者数6,719人	宿泊者数4,574人	来園者数 236,683人 キャンプ場利用者数 1,478人
Q8	料金(料金水	準の考え方	ī)				無料	無料		村が まれが いき から、安い 使用料におさえ	利用料金制度なし	類似施設料金等を参照して決定	類似施設料金等を参照して決定	_ 類似施設の料金体系等を参 照して決定
Q9	施設運営に係 託料等 20年度 (千円)	府収 委 指者収 指者収		指えての方式というできます。	定管理者の他法人	補修費 施設使用料 管理運営委託料 自主事業収入 その他 小計 一	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7,147 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 7,147 7,147 151 0 7,147 151 0 7,147 151 0 7,147 151 0 7,147 151 0 7,147 151 0 7,147 151 0 7,147 151 0 0 7,147 151 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 29,930 0 29,930 0 0 29,930 29,930 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 29,930 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 1 0 0 0 0 0 1 0	0 16,392 0 16,392 0 0 0 16,392 16,392 0 0 0 0 0 418,392 0 0 0 0 0 0 0 0 0 16,811 0 0 0 16,811	70,701 70,701 18,865 27,785 1,994 48,644 18,936	32 32 10,000 10,000 10,000 10,000 10,000 9,968 2,586 35,111 10,000 47,900 9 93,020 23,762 25,600 2,137 51,499 51,930	31,600 31,600 31,600 31,600 31,522 298 4,935 31,600 1,619 292 38,446 10,731 24,920 1,310 36,961 1,359	176 0 7 16 7 16 7 16 7 16 7 16 7 16 7 16 7 16
Q10	公費投入額(億円)		建設		の他法人	小計 事業費等 合計 一般財源 国庫補助金 起債	7,147 0 7,147 6 2	70	28,859 0 28,859 -	-	67,580 67,580	103,429	38,320 38,320	3,401 665 0 0 0 3,401 665
						その他 計	8	4	-	-				
Q11	施設職員数(当)	本部 現地	!			2	1 1	3	5	9	15	6	<u> </u>
Q12	その他(同様 の、同様のサ れている場合 についてお教	ービスを実 の手法·コ	もの 施さ スト等					・公費投入額については、複数年度に渡り、不明な部分が多いため空欄とした。なお、土地取得額は約3.9億円、建物建設費は約11.5億円。・施設職員数について、仕様で現地常駐を1名とするほか特に定めがないため、本部職員数は事務相当職1名とした。	特になし		特になし	特になし	特になし	特になし特になし

都道	府県名					1		愛知県			古生	部府			兵庫県			島根県	
郁坦 Q1	府県名 同様の施設(の有無						変知県 あり				I) ENA			兵庫県 あり		1	局依県 あり	
Q2	施設名称	13///				伊良湖休暇村公	:園施設	愛知県森林公園	1	愛知県民の森	京都府立府民の和		兵庫県立三木山森林	公園	県立笠形山自然公	園センター	島根県立三瓶自然館		三瓶小豆原埋没林公園
	開設年月日					1966年04月01日	(昭和41年)	昭和9年		昭和42年	平成12年		平成5年		2002年03月29日(3	平成14年)	平成3年(本館) 平成	14年(新館)	平成15年
Q4	施設で実施し	している主な事業				業務(受付等) 施設の利用案内 利用促進、広報	/場の利用に関する I、接遇	各施設の維持管理 利用料金の徴収 利用許可・指導 自然ふれあい活動等の実施	1	各施設の維持管理 利用料金の徴収 利用許可 指導 自然ふれあい活動等の実施	資料館、キャンプ 管理 利用者への木工 園内の巡視等		施設の維持管理 植生の保育管理 森林に関する普及啓 開催 利用料金の徴収 等	発イベントの	に施設を県民の利 (2) 自然とのふれ の行事を開催する	あい、自然学習等のため こと。 する資料の収集及び情 <u>:</u> 。	・特別企画展等の企画 ・プラネタリウムの投影 ・各種イベントの企画、 ・自然学講座の開催	、全天周映画の上映	・来館者の受付、案内、誘導およ び展示解説 ・広告宣伝業務 ・施設の維持管理に関する業務
Q5	主な施設内犯	容				プール キャンプ場 駐車場	大プール(1470㎡)	総面積 467.4ha 107ha 107ha 2面 107ha 2面 17na 17na 17na 17na 17na 17na 17na 17na	管理棟	総面積 571.7ha 6宿泊・管理施設 1棟 3 4棟 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4 5 4	面積のないでは、 資子では、 資子では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	128ha 1棟棟 3棟棟 31区種棟 4棟 2棟	文化館 研修館 木材加工体験棟 茶室 屋外トイレ棟 BBQサイト	81.3ha 1棟棟 1棟棟棟 1 1棟棟 5棟1.0 389台	面積管理棟東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東京の東	0.3ha 1棟 3棟 1箇所	館を開建) < 施設内容 > 本館:常設展示(島根) ジュアルドーム、受付、ナー、図書コーナー、夏付、ナー、図書コーナー、利館: や該民家、ハ・豆自然、フィールドガイド庫、研究施設 > 下原価へのできる。 下原価へのアットリング・サイン・リング・サイン・リング・リング・サイング・カーリング・カーリング・ルー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファー・ファ	5コンクリート2階建(新 県と三瓶の自然)、ビ 売店、野外観察コー 原務室、機械室など 3、企画展示室 原理没林、現日本海の 15大体観察施設、収蔵 室、機械室など リングコース(北の原~ コース	園地面積約10,000㎡ 大展示棟(縄文の森発掘保存展 示、保存施設)1,143㎡ 小展示棟(合体木根株展示)97㎡ 管理棟(受付、事務)143㎡
Q6	管理運営形態	態				指定管理者によ (指定管理者名) 村協会		指定管理者による管理 (指定管理者名)(財)愛知公園		指定管理者による管理 (指定管理者名) (財) 愛知公園協会	指定管理者による (指定管理者名)コ 南丹		指定管理者による管理 (指定管理者名)(社) 社		指定管理者による (指定管理者名)多		指定管理者による管理 (指定管理者名)財団>	! 法人∪まね自然と環境貼	団
Q7	利用者数(20	0年度実績)	_			来園者数 63,77	 1人	来園者数 932,161人	2	来園者数 584,126人 宿泊者数 29,401人(宿泊施設 9,094人 キャン ブ施設 20,307人)	· 入園者数 39,935		来園者数588,642人		利用者数18,868 宿	 官泊者数1,405	利用者数 134,956人		利用者数 38,948人
Q8	料金(料金水	k準の考え方)				類似施設の料金 決定	体系等を参照して	類似施設の料金体系等を参照		類似施設の料金体系等を参照して 決定	キャンプ場等につ 徴収		類似施設の料金体系 決定	等を参照して	類似野外活動施設 て決定	の料金体系等を参照し	類似施設の料金体系	等を参照して決定	類似施設の料金体系等を参照して決定
					施設使用料	//\Æ	0	~_	0	次 是			WE		CIAAC	()	0	
					行政財産目的外使用料		0		1,220	2,587				3,984		()	513	
					建物貸付収入 国庫負担金				902	122							4		
			F	守県収入	乗馬補助金				117	(
					維入		2,338		17	15		204		3,221		()	0	
					造林負担金 一般会計繰入金				373,033	1,164 179,861					+		╡		
					合 計		2,338		375,288	183,749		204		7,204		(<u> </u>	513	
		府県の		指定管理者	管理運営委託料 補助金·委託料	-	0		288,583	90,873	_	14,500		153,472	2	(<u>) </u>	304,500	
		収支		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	小計		0		288,583	90,873		14,500		153,472	2		5	304,500	
			府	その他法人	補助金・委託料		0		0	40.040						(<u> </u>	0	
			県		総務費 管理諸費				51,644 6,048	46,949 8,960					+		╡		<u>:</u>
			支出	直接	元金				0	3,754							1		
					利子 公債諸費				0	22,135	_						4	-	
	佐郎宝光に	& z 未			その他		0		0	C				1,424) / 恢言几个主//左	0	<u> </u>
Q9	施設運営に 託料等		佐田士!	1 広川川 1	合計		0		346,275	172,694		14,500		154,896	6	(→ 4施設合計値 (内訳がわかるもの	304,500	
Qy	20年度 (千円)		府県支出	<u> 1 - 府県収入</u> 11	(-) 補修費		2,338 0		29,013 8,159	11,05 1,838		14,296 150		147,691	+	() は、各施設分を「うち 千円」として記入	303,987 7,622	
	(111)				施設使用料		2,811		34,411	51,797		6,634		4,345		4,313	113100000	58,200	うち7,606
					管理運営委託料 補助金·委託料		0		288,583	90,873	1	14,650		153,472	2	(<u>}</u>	304,500	<u> </u>
			法	指定管理者	自主事業収入		0		1,234	(543				81		844	•
			人収		その他小計		0		1,019 325,247	259 142,929		21,827		157,817	,	4,394		2,482 366,026	
			入		補助金・委託料		2,811 0		325,247	142,929	_	21,827		157,161		4,394	'	366,026	
		45		その他法人	その他		0		0	0						3,089		0	
		指定管理 者等の			小計 合計		2,811		325,247	142,929		21,827		157,817	,	3,089 7,483		366,026	
		収支			施設維持費		430		81,570	64,976		4,540		26,668	3	3,675	5	125,888	うち11,676
					世 人件費 その他		1,877 693		242,022	59,782		10,820 3.628		58,218 13,923	3	3,808	3	155,476	
			法人	指定管理者	小計		3,000		323,593	124,758		18,988		98,809)	7,483	<u> </u>	281,364	
			支		事業費その他		0		1,234	(<u> </u>			59,008	3		<u>.</u>	59,182 24,052	
			出		小計		3,000		324,827	124,758	<u> </u>	18,988		157,817	,	7,483	<u>′</u>	24,052 364,598	
				その他法人	事業費等		0		0	C		10.055		, == o · -		(0	
					<u>合計</u> 一般財源		3,000		324,827	124,758		18,988		157,817		7,483	-	364,598	<u>:</u>
010	公費投入額		Z⊕±/Ln+ -	7.田が南山 当7	国庫補助金		-		-			-		05.5			-		
Q10	公費投入額 (億円)		建設時位	D財源内訳	起債 その他		-		-			-		65.3 5.6			-		
			- ☆□		計		1.1		-			24		70.9			-	99	5.4
Q11	施設職員数((名)	本部 現地			1	0		- 22		8	6		15	5		2	3	
Q12	の、同様のサ れている場合	養施設はないもの サービスを実施さ 今の手法・コスト等 教え下さい。)				特になし		所管・管理している。不足財源 Q11施設職員数について、	斗等におい は一般会! 指定管理者 り、本部職	て、両施設は県有林野特別会計で 計からの繰入金を充当している。 ぎである(財)愛知公園協会は他部局 員数は本部運営経費補助金を健康		v	特になし	10	特になし		なし	v	なし

机岩	道府県名 同様の施設の有無 施設名称 関約4年日ロ					白	艮県		徳島県		福岡県	
部追 O 1		H.					以宗(51)		徳島県あり		一個に	
Q2								 佐那河内いきものふれあいの里		徳島県立高丸山千年の森		福岡県立夜須高原記念の森
	開設年月日						昭和57年	平成4年7月		平成16年	昭和51年	平成6年
Q4	施設で実施してい	る主な事業				·広告宣伝業務	発と指導に関する業務 ・来園者の対応	ネイチャーセンターの運営管理(施設管理)、 自然観察会の開催 自然観察スポットの管理 キャンプ場、パンガローの使用料徴収と維持 管理	自然に親しむイベントの開催。	高丸山千年の森の施設等の維持管理、 森林等自然に親しむイベントの開催及び ボランティアによる自然林再生活動の促 進。		建物等施設の維持管理 植生の保育管理 巡視、利用者への指導・啓発 各種イベントの実施 等
Q 5	主な施設内容					施設内容: セントラルロッジ(受付、事務室、多目的ホール、売店など) オートキャンブサイト(75区画) 一般キャンブサイト(アント200張 ワケビン(大型ケビン3棟 小型ケ	小型ケビン 2棟 バンガロー 2棟 グリルケビン 3棟 センターハウス レクチャーハウス	画積 40ha A-チャーセンター 462.12m2 4+23m2 7.2 5棟(120m2) 1 5 様(120m2) 1 5 ᡮ(120m2) 1 5 様(120m2) 1 5 ᡮ(120m2) 1 5 ᡮ	レストハウス 1棟 炊飯所 1棟 管理作業舎 1棟 便所 17棟	敷地面積 57.1ha 干年の森ふれあい館 1棟 体験作業所 1棟 現地案内所 1棟 倉庫 1棟 エコトイレ 1棟	面積 342ha 管理棟・研修棟 2棟 駐車場 4箇所 展示館 1棟 キャンブ場 1箇所 野外音楽堂 1箇所 アスレチック遊具 外 1箇所	面積 23ha 管理棟 1棟 ちびっこ広場 1箇所 渓流園 1箇所 電険の森 1箇所 駐車場 2箇所 パスケットコート外 1箇所
Q6	管理運営形態							指定管理者による管理 (指定管理者名)佐那河内村	指定管理者による管理 (指定管理者名)徳島中央森林組合(ただ し、平成21年から)	指定管理者による管理 (指定管理者名)かみかつ里山倶楽部	指定管理者による管理 (指定管理者名)福岡県森林組合連合会	指定管理者による管理 (指定管理者名)福岡県森林組合連合 会
Q7	利用者数(20年度	実績)				利用者数27,790人 利用件数(有料)4,698件	利用者数7,029人 利用件数(有料)323件	利用者数 7,493人	来園者124,732人	来園者7,525人	来園者数245千人	来園者数170千人
Q8	料金(料金水準の	 考え方)				類似施設の料金体系等を参照して決定	類似施設の料金体系等を参照して 決定	近隣のキャンプ場利用料金等から決定	施設使用については無料	施設使用については無料	なし	なし
					施設使用料 行政財産目的外使用料 建物貸付収入	(大)	C 决定	772	99	10		165
			A	府県収入	国庫負担金 乗馬補助金 雑入 造林負担金				186			
					一般会計繰入金							
				1	合 計 管理運営委託料			772 22,302	285 78,750	10 18,795	41 30,135	165 73,227
		府県の		指定管理者	補助金·委託料			0				
		収支		その他法人	小計 補助金·委託料			22,302	78,750	18,795	30,135	73,227
			府県	CONBIAN	総務費			0				
			支		管理諸費							
			出	直接	元金 利子							
					公債諸費			-				
	施設運営に係る委	ē		-	その他 合 計			0 22,302	78,750	18,795	30,135	73,227
Q9	託料等 20年度			出 - 府県収入 (-)			21,530	78,465	18,785	30,094	73,062
	(千円)		府県支出		補修費 施設使用料	うち18,695	うち2,491	0				
					管理運営委託料	ر995ما و ر- 	フ ₅ 2,491	22,302		18,795	30,135	73,227
				指定管理者	補助金·委託料			0				
			法人		自主事業収入 その他			0		1,609 159		
			人収		小計			22,302	79,916	20,563	30,135	73,227
			λ	その他法人	補助金・委託料 その他							
		指定管理		COIDIAN	小計			0	0	0		
		者等の 収支			合計	9 ±		22,302	79,916	20,563	30,135	73,227
		43.×			施設維持費 (大件費	うち9,669	うち4,669	5,397 15,243	54,446 17,053	1,218 8,019	14,349 13,996	53,603 15,785
			÷±	 	理 その他			1,662	6,144	5,269	35	50
			法人	指定管理者	事業費			22,302	77,643 1,643	14,506 5,058	28,380	69,438 180
			支出		その他			0		5,056	1,755	3,609
				スの44:+ 1	小計			22,302	79,866	20,053	30,135	73,227
				その他法人	事業費等 合計			22,302	79.866	20,053	30,135	73,227
				•	一般財源			3		-	-	-
Q10	公費投入額 (億円)		建設時代	の財源内訳	国庫補助金 起債			2	-	<u> </u>	-	-
	(億円)		~	realization DMA	その他						-	
<u> </u>			本部		計	3億+当初整備費不明	9.6	5	100	4	- 0.5	-
Q11	施設職員数(名)		現地			7	4	4	=		0.5	0.5
									3			
Q12	その他(同様施設 の、同様のサービ れている場合の手 についてお教え下	スを実施さ 法・コスト等	į			なし	なし	特になし	Q10の公費投入額はS58~H14までの事 業費		特になし	特になし

調査施設分類 (13 牧場・畜産学習 (府施設名称等 46 府民牧場))

都這		大阪府	秋田県	神奈川県	静岡県	愛知県	京都府	兵庫県	島根県	徳島県	福岡県
Q1	同様の施設の有無	あり	なし	あり	なし	なし	なし	あり	なし	なし	なし
Q 2	施設名称	大阪府民牧場		県立大野山乳牛育成牧場				兵庫県立但馬牧場公園			
Q 3	開設年月日	平成11年9月23日		昭和43年3月30日				平成6年10月1日			
Q4	施設で実施している 主な事業	家畜とのふれあい体験(乳搾り体験他)、 乳製品加工体験(バター手作り体験)、畜 産講習会等		乳牛預託育成事業 ふれあい交流施設「まきば館」での畜 産・牧場理解展示 交流教室				動物とのふれあい、農産物加工体験、スキー等			
Q 5	主な施設内容	ファーマーズハウス 650㎡ バーベキューハウス 125㎡ 育成牛舎 639㎡ 緬羊舎 123㎡		管理事務室、牛舎、育成牛避難舎、農機 具庫、衛生検査舎、堆肥舎、飼料庫、水 道施設、まきば館(ふれあい交流施設)				ビジターNウス等 1,578㎡ 動物舎 747㎡ 車庫 102㎡ 展望台 49㎡ レストラン 526㎡ バーベキューハウス 100㎡ 総合交流センター(宿舎) 715㎡			
Q 6	管理運営形態	指定管理者による管理 (指定管理者名) (財)大阪府みどり公社		直営				指定管理者による管理 (指定管理者名) 新温泉町			
Q7	利用者数(20年度実績)	151,909人		乳牛預託育成事業:新規預託受入 80頭 まきば館来場者 : 41,561人 交流教室 : 23回、993人				181,390人			
Q8		入場料金 高校生以上 500円 年間パスポート 1,300円 駐車場料金 普通車一日一台 500円・ 大型車一日一台1,200円 研修室 室料一日 3,000円 多目的ルーム 室料一日 1,500円 (料金水準の考え方) 他府県の同種施設及び府内施設の料金を同水準としている。 管理運営コストをもとに、料金設定を検討 入場料金、駐車料金ともに、障害のある方及びその介護人については減免。		乳牛預託育成事業: 450円/頭·日 まきば館来場者·交流教室:無料				< 入園料 > 無料 < 農産物加工室使用料金 > 専用利用 9~12時 3,700円 13~17時 4,900円 18~21時 5,600円 9~17時 8,600円 13~21時 10,500円 9~21時 14,200円 共同利用 1人1回につき(大人) 150円 (子供) 70円 (牧場公園条例による)			
Q9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	205,490千円		29,970,791円				(合計)95,790千円 (内訳) 人件費(県派遣)22,580千円、施設維持 費48,806千円、その他経費3,695千円 人件費20,388千円、家畜売払手数料321 千円			
Q10	公費投入額	74,375千円		9,861,635円				90,459千円			
Q11	施設職員数	常勤3人 非常勤11人(すべて嘱託職員)		14名(常勤8名、非常勤6名)				11人(県派遣職員:2、新温泉町職員:1、 嘱託員:4、臨時職員:4)			
Q12	その他(同様施設は ないものの、同様の サービスを実施され ている場合の手法・ コスト等についてお 教え下さい。)										

調査施設分類 (14 演芸資料展示 (府施設名称等 47 上方演芸資料館))

都道	道府県名	大阪府	秋田県	神奈川県	静岡県	愛知県	京都府	兵庫県	島根県	徳島県	福岡県
Q1	同様の施設の有無	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
Q2	施設名称	大阪府立上方演芸資料館									
Q3	開設年月日	平成8年11月15日									
Q4		上方演芸資料の収集・保存、企画 公演、上方演芸の殿堂入り顕彰、 ホール等貸館等									
Q 5		展示室 ホール レッスンルーム 収蔵庫 事務室									
Q6	管理運営形態	指定管理者による管理 (指定管理者名) ニューウエーブ 日東大阪									
Q7	利用者数(20年度実績)	展示室57,683人 ホール70,948人 レッスンルーム17,553人 上方亭 12,631人									
Q8	料金(料金水準の 考え方)	展示室:大人400円、高校生・大学生250円、小・中学生120円(府の博物館等の料金を考慮して設定)ホール:演芸に利用する場合は、平日全日77,000円 演芸以外の文化芸術に利用は平日全日92,400円(民間施設の料金を考慮して設定)レッスンルーム:演芸に利用し、かつ、営利及び宣伝を目的としない場合 平日全日13,800円(府の公の施設の料金を設定)小演芸場:演芸に利用し、かつ、営利及び宣伝を目的としない場合 平日夜間7,600円(かつ府の公の施設の料金を設定)									
	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	173,607千円									
Q10	公費投入額	396,180千円									
Q11	施設職員数	2 2名(22.2.15現在)									
Q12	はないものの、同様のサービスを実施されている場合の手法・コスト等に	上方演芸に係る資料を収集、保存及び展示をするとともに、在阪放送局から上方演芸番組の提供を受け、無料で来館者に視聴していただ〈ライブラリー機能を有する公の施設は上方演芸資料館以外には存在しない。									

調査施設分類 (15 男女共同参画 (府施設名称等 48 府立男女共同参画・青少年センター))

都道府県名	大阪府		秋田県		神奈川県	静岡県	愛知県	京都府	兵庫県	島根県	徳島県	福岡県
Q1 同様の施設の有無			あり		あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
Q2 施設名称	大阪府立男女共同参画・青少年センター (愛称:ドーンセンター)	秋田県北部男女共同参画セン ター	秋田県中央男女共同参画センター (愛称:ハーモニープラザ)	秋田県南部男女共同参画セン ター	神奈川県立かながわ女性セン ター	静岡県男女共同参画センター (愛称:あざれあ)	愛知県女性総合センター (愛称:ウィルあいち)	京都府男女共同参画センター (愛称:66京都)	兵庫県立男女共同参画センター(愛称:イーブン)	島根県立男女共同参画センター (愛称:あすてらす)	徳島県立男女共同参画交流センター (愛称:フレアと(しま)	福岡県男女共同参画センター (愛称:あすばる)
Q3 開設年月日	平成6年11月11日	平成14年7月30日	平成13年4月1日	平成14年7月30日	昭和57年11月	平成5年5月	平成8年5月30日	平成8年4月1日	平成4年10月1日	平成11年4月1日	平成18年11月11日	平成8年11月22日
施設で実施してい る主な事業		・相談・啓発・情報の各分野に	・研修室等の貸館業務 ・相談・啓発・情報の各分野に わたる男女共同参画に係る業 務	・研修室等の貸館業務 ・相談・啓発・情報の各分野に わたる男女共同参画に係る業 務	·調査研究、人材育成、相談等	・相談、啓発、情報の各分野に	・ホール、会議室等の貸館業務 ・相談・啓発・情報の各分野に わたる男女共同参画に係る業 務	わたる男女共同参画に係る業	·男女共同参画に関する相談 啓発、就業支援、活動·交流支援、調査研究、研修事業	供)、調査・研究に係る事業	(県直営) 相談事業・啓発講座等の開催、 資料収集・提供等の男女共同 参画に関する業務 (指定管理業務、 ・ホール、会議室等の貸館業 務、利用者のための託児業務	
Q5 主な施設内容		交流サロン、研修室、子どもサロン(託児室)、事務室	情報交流室、グルーブ活動室、 交流サロン、研修室、子どもサロン(託児室)、事務室、相談 室、ワーキングルーム	交流サロン、研修室、子どもサ	室、レッスン室、託児室、会議室(70人1室、150人1室(3室に分けられる)、20人1室、小会議室1室)、研修室(100人1室、50人1室)、視聴覚室、多目的	(80人)、会議室(144人、81人、 30人、28人、48人)、研修室(84 人、30人、16人)、生活関連実 習室(調理室)、茶室、多目的	3 室(252名)、会議室(15名・1室、 24名・2室、48名・2室、54名・2 室)、セミ・サールーム、視聴覚 ルーム、創作スタジオ、料理ス タジオ、音楽スタジオ、フィット ネススタジオ、宿泊室(和室11 室、洋室ツイン4室、洋室シング	名) チャレンジオフィス(5区画) 相談室、共同個別相談室 ワーキングルーム(18名)	ひょうご女性チャレンジひろば 相談室(3室)、情報図書室 セミナー室・講習室(教室型使 用・各40名。間仕切りをとった 場合(椅子のみ):最大150名) 保育室	ライブラリー、ホール(290名)、 多目的研修室、特別研修室(33席)、研修室(最大162名:2~4 室に分割可能)、和室(2室)、	こども室・・・(指定管理者による 話児スペース)	オ、工芸室、音楽室、スタディルーム、0Aルーム、セミナールーム (120名1室(2室に分割可)、54名1室)、フィットネス
Q6 管理運営形態	指定管理者による管理 ・指定管理者 = ドーン利用促進 事業共同体 ・指定管理期間 = 平成18年4月 1日 ~ 平成23年3月31日まで	指定管理者による - 指定管理者 = 特定非営利活動法人秋田県北NPO支援センター ・指定管理期間 = 平成18年4月1日 ~ 平成23年3月31日	県直営	指定管理者による ・指定管理者 = 特定非営利活動法人秋田県南NP0センター・指定管理期間 = 平成18年4月1日 - 平成23年3月31日	直営	推進団体、施設の保守管理企業、清掃管理企業のグループ	·指定管理期間 = 平成18年4月 1日~平成23年3月31日まで	民総合交流事業団 指定管理期間 = 平成21年4月	県による管理運営 (民間の複合施設内に男女共 同参画センター施設を設置して いるため、建物全体の管理は 民間が行っている)	[センター	理、施設使用料の徴収は、指 定管理者が実施。 ・指定管理者 = 財団法人徳島 県観光協会	・指定管理者 = (財)福岡県地 域福祉財団 ・指定管理期間 = 平成21年4月 1日から3ヵ年 事業(あすばる運営):事業委 託による ・委託先 = (財)福岡県女性財 団
Q7 利用者数(20年度	350,634人	19,945人	32,418人	12,561人	113,789人	234,506人	575,830人	93,959人(施設利用者)	47 , 172人	33,550人	43,400人	142,535人
マ/実績) ス8 料金(料金水準の 考え方)	施設の設置目的外の利用につ	進に関して行う活動のための 使用に該当の有無で料金を区 分している。	【使用目的による料金区分】 ・男女共同参画社会の形成の推進に関して行う活動のための使用に該当の有無で料金を区分している。	進に関して行う活動のための	いては、目的利用の2倍の料金を徴収。 (目的利用 = 男女共同参画社会の実現に資する目的で利用、並びに青少年活動の促進や青少年の健全育成に資する目的で利用)、 (料金水準の考え方) 各会議室等の利用料金の設定	行う)	活動を行っている団体の利用 促進を図るため、女性団体料 金を適用している。 「料金水準の考え方」 各会議室等の利用料金の設定 にあたっては、類似の施設の料 金を参考としている。	各会議室等の利用料金の設定にあたっては、同種の施設の料金を参考に設定。 「「登録団体」の特典制度 別女共同参画の推進等を目的とし、一定の要件を満たして男	貸館業務を行っていないため、 使用料金は徴収していない。	施設の設置目的外の利用については、目的利用の5割相当額を加算	順商品の展示又は販売、営業の 宣伝その他これらに類する目 ためで使用する場合5倍の料金 を徴収。	営利目的使用については、非 営利/料金徴収1,001円以上の 2倍の料金を徴収。非営利/利
施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	413,299千円	13,259,000円 (賃借料等2,142,000円))	16,811,000円	14,519,000円 (賃借料等3,150,000円))	214,415,124円 (人件費除()	事業活動支出計) 静岡県からの指定管理委託	273,783,652円(指定管理者の 事業活動支出計) 愛知県からの指定管理料に 加え、施設利用料金等による 収入を事業費に充当。	京都府からの補助金に加 え、施設利用料金等による収	71,594,770円 (ビル賃借料・共益等の施設維持費を含む)	96.547,060円 : (指定管理者の事業活動支出 計) 島根県からの指定管理委託 料に加え、施設入居者からの 共益費等の収入を事業費に充 当		117.364,000円 (男女共同参画センター運営費 のみ)
Q10 公費投入額	209,422千円 (指定管理料) 23,748千円	11,117,000円 (指定管理料)	16,811,000円	11,369,000円 (指定管理料)	214,415,124円	108,000,000円(指定管理委託 料:貸館、保守管理、修繕、光 熱水費、清掃、情報、調査研 究、交流支援等に係る経費)		58,955,161円 (運営補助金)	71,594,770円	86,500,000円 (指定管理料)	34,062,784円 (指定管理料)	117,364,000円 (男女共同参画センター運営費 のみ)
Q11 施設職員数	常勤職員 = 8人 非常勤職員 = 1人(30時間/週	常勤職員 = 3人)	非常勤職員 = 10人	常勤職員 = 1人、非常勤職員 = 4人	常勤職員 = 21人 非常勤職員 = 18人	・指定管理者:常勤職員=8人、 非常勤職員=23人(上記業務 に係る人員)		常勤職員 = 5人 非常勤職員 = 5人	常勤職員(県職員)=9人 非常勤職員=5人(30時間/ 週)	常勤職員 = 3人 非常勤職員 = 5人(うちパート3 人)	指定管理者以外の職員 常勤職員 = 3人 非常勤職員 = 5人(30時間/ 週)	常勤職員 = 13名 非常勤職員 = 3名 *女性財 団に所属する職員のみ記載
その他(同様施設 はないものの、同 様のサービスを実 施されている場合 の手法・コスト等に ついてお教え下さ い。)												

調査施設分類 (16 美術展示 (府施設名称等 49 現代美術センター))

都证	道府県名	大阪府	秋田県	神奈川県	静岡県	愛知県	京都府	兵庫県	島根県	徳島県	福岡県
Q1	同様の施設の有無	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
Q 2	施設名称	大阪府立現代美術センター									
Q 3	開設年月日	昭和55年4月1日 (移転:平成12年1月1日)									
Q4	施設で実施してい る主な事業	貸館、主催展開催、セミナー・ワーク ショップ開催、有償ボランティア活用促 進									
Q5	主な施設内容	·展示室(2箇所) ·事務室 ·倉庫									
Q 6	管理運営形態	指定管理者による管理(平成18年度~2 1年度) 平成22年度は、直営									
Q7	利用者数(20年度実績)	55,194人									
Q8	料金(料金水準の 考え方)	入場料を徴収しない展覧会(1週間) 展示室A(全室) 180,000円 展示室B(全室) 82,200円 入場料を徴収する展覧会(1週間) 展示室A(全室) 270,000円 展示室B(全室) 123,300円 2/3、1/2、1/3によって料金が異なる (移転前の現代美術センター(中之島)展示室の 一平米あたりの単価を基準に設定)									
Q 9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	30,304千円									
Q10	公費投入額	21,458千円									
Q11	施設職員数	7名									
Q12	様のサービスを実施されている場合の手法・コスト等に	現代美術センターの機能は、通常の公立(都道府県立及び市立など)美術館と類似しているが、美術館としての博物館法に規定する施設などの要件を具備していないことから、他の美術館と比較することは困難である。									

(17 会館(労働者福祉) (府施設名称等 50 労働センター))

都	道府県名	大阪府	秋田県	神奈川県	静岡県				愛知	知県			
Q1	同様の施設の有無	あり	なし	あり	あり				ð	51)			
Q2	施設名称	大阪府立労働センター		神奈川県立かながわ労働プラザ	静岡県労政会館 (沼津、静岡、浜松)	愛知県勤労会館	豊橋勤労福祉会館	岡崎勤労福祉会館	一宮勤労福祉会館	半田勤労福祉会館	津島勤労福祉会館	尾西勤労青少年福祉 センター	サンライフ名古屋
Q3	開設年月日	昭和53年10月1日 (南館:平成元年4月1日)		平成7年10月1日	沼津(S30.10)、 静岡(S27.4)、 浜松(S29.9)	昭和45年6月1日	昭和51年7月21日	昭和58年1月4日	昭和59年1月21日	昭和53年6月22日	昭和52年6月18日	昭和49年1月13日	昭和56年10月29日
Q4	施設で実施してい る主な事業	ホール・会議室等貸館事業		ホール、会議室、トレーニング ルーム、ギャラリー及び音楽ス タジオの貸館、駐車場の賃 貸、労働情報コーナーの運 営、自主事業の実施	·会議室等貸館 ·労働団体への事務所貸付 (無償、静岡のみ)	講堂等の貸館、職業適性検査、労働図書資料 室	講堂等の貸館、運動旅 設	西 講堂等の貸館、宿泊 室、運動施設		講堂等の貸館、宿泊 室、運動施設		講堂等の貸館、宿泊 室、運動施設	会議施設の貸館、運動 施設
Q5	主な施設内容	大ホール(801名・1)、南ホール(216名・1)、会議室(200名~18名:計17)、視聴覚室(4名・3)、研修室(72名~21名:計4)、講師控室(4名・3)、講習室(75名~30名:計8)、駐車場(66台)等		多目的ホール(380名:1)、会議室(72~14名:計12)、トレーニングルーム(1)、ギャラリー(1)、音楽スタジオ(2)、駐車場(71台)等	静岡(ホール312人、会議室・研修室6室:18人~30人、視聴覚	講堂、小ホール、会議施設、職業サービスセンター、労働図書資料室	講堂、小ホール、会議 施設、運動施設	講堂、小ホール、会議施設、宿泊室、運動施設	講堂、小ホール、会議 施設、宿泊室、運動施 設	講堂、小ホール、会議 施設、宿泊室、運動施 設	講堂、小ホール、会議施設、宿泊室、運動施設	講堂、多目的ホール、 会議施設、宿泊室、運 動施設	会議施設、運動施設
Q6	管理運営形態	指定管理者による管理 (指定管理者名)共同事業体 エル・ブラン(構成員:(財)大 阪労働協会、大林ファシリ ティース(株))		指定管理者による管理 (指定管理者名) 財団法人神奈川県労働福祉 協会	指定管理者による管理 3館 一括管理 (管理者:(財)静岡県労働福 祉事業協会)			指定管	指定管理者による管理 程理者:財団法人愛知県労				指定管理者による管理 指定管理者:社団法人 愛知県雇用開発協会
Q 7	利用者数(20年度実績)	888,068人		303,230人	沼津(101,625人)、 静岡(210,305人)、 浜松(90.855人)	658,836人	220,555人	146,155人	180,195人	131,712人	182,664人	144,310人	144,836人
Q8	料金(料金水準の 考え方)	近傍類似施設の料金を勘案し て設定		近傍類似施設の料金を勘案し て設定	近傍類似施設等の料金を勘案して設定	愛知県	労働者福祉施設条例で	で定める使用料の額に相	当する額に、0.7を乗じて	て得た額から1.3を乗じ	て得た額までの範囲内に	おいて、指定管理者が深	定める額。
Q9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	330,017千円		59,646千円	沼津(17,561,457円)、 静岡(41,932,961円)、 浜松(28,598,962円) 指定管理者収入実績(利用 料金制あり)		216,740千円	137,333千円	144,124千円	131,815千円	139,233千円	161,848千円	50,426千円
Q10	公費投入額	15,273千円		0円 利用料金制を取っており、指 定管理料は支払っていない。	27,385千円(委託料H20実績) 3館一括	312,516千円	148,425千円	94,903千円	93,618千円	99,831千円	95,138千円	121,136千円	37,405千円
Q11	施設職員数	常勤5人		常勤5名、非常勤16名	支配人1名 + (沼津)2名、(静岡)3名、(浜松)2名 計8名	2 4人	9人	8人	8人	8人	9人	9人	4人
Q12	その他(同様施設 はないものの、同 様のサービスを実 施されている場合 の手法・コスト等に ついてお教え下さ い。)					なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし

都	道府県名				都府			兵	車 県	島根県	徳島県	福岡県
Q1	同様の施設の有無	Ħ.		a de la companya de	51)			₽.	51)	なし	なし	あり
Q2	施設名称	京都府立城南勤労者福祉会 館	京都府立山城勤労者福祉会 館	京都府立口丹波勤労者福祉 会館	京都府立中丹勤労者福祉会 館	京都府立舞鶴勤労者福祉会 館	京都府立丹後勤労者福祉会 館	兵庫県中央労働センター	兵庫県立姫路労働会館			福岡県立北九州勤労青少年文 化センター
Q3	開設年月日	昭和62年3月1日	昭和60年4月11日	昭和58年9月1日	昭和58年12月1日	昭和61年2月17日	昭和57年4月1日	昭和52年1月	昭和61年11月			昭和57年10月1日
Q4	施設で実施してい る主な事業	教室、フラワーアレンジメント 教室等 勤労者スポーツ事業・・・親子 体操教室、健康教室、ヨーガ	勤労者スポーツ事業・・・「スポーツを楽しむ日」、「テニスを楽しむ日」、「硬式テニス教	到ガースが一つ事業・・・テース教室、ヒップホップダンス教室、シニア卓球交流大会等 自主事業・・・入門簡単ピアノ	会議室等貸館事業 勤労者福祉事業・・・囲碁大会等 自主事業・・・手作り工作物展 示会、健康に関する講演会等	会議室等貸館事業 勤労者福祉事業・・・料理教室 等 勤労者スポーツ事業・・・トレーニング教室等	会議室等貸館事業 勤労者福祉事業・・・料理教室、ちぎり絵教室、囲碁教室等 勤労者スポーツ事業・・・シェイプアップ教室、エアロビクス教室等 自主事業・・・・パソコン相談会、なざなた入門教室等	ホール・会議室等貸館、写真 展、俳句教室、フラワーアレン ジメント教室等	ホール・会議室等貸館、トレーニング室、シェイプ&ケア教室、減量チャレンジ教室、川柳コンクール等			ホール・会議室・体育館(テニスコート、プール含む)の管理運営 自主企画事業(資格取得講座、相談事業、文化教養講座、スポーツ教室等)
Q 5	主な施設内容	教養文化室(48名・1)、会議室(22名・1)、集会室(280名・1)、職業講習室(24名・1)、トレーニングルーム特定独立行政法人雇用・能力開発機構との合築施設(城南地域職業訓練センター)	会議室(30名~120名·4)、体育館、テニスコート	会議室(10名~120名·8)、体	会議室(10名~60名·10)、中会議室(100名·1)、大会議室 兼レクリエーション室(180名·1)	料理教室(30名·1)、教養文化室(20名·1)、職業講習室(72名·1)、視聴覚室(16名·1)、 会議室(16名·1)、和室会議室(50名·1)、研修室(100名·1)、多目的ホール(235名·1)、トレーニングルーム、健康相談室、職業相談室、職業相談室、レストラン、図書室	レーニングルーム、料理教室	大ホール(320名·1)、小ホール(150名·1)、会議室(8~78名·16)、 視聴覚室(50名·1)、サークル室(20~32名·1)等	議室(24~54名・4)、サークル 室(18~36名・2)、和室(15~			本館(ホール、会議室、研修室、音楽室、茶室等) 体育館(競技場、柔剣道場、卓球場、テニスコート、プール)
Q6	管理運営形態	指定管理者による管理 (指定管理者名)職業訓練法 人 城南地域職業訓練協会	指定管理者による管理 (指定管理者名)株式会社トー タルプランニング・エヌ	(拍佐官珪白石) 付佐平呂州 	指定管理者による管理 (指定管理者名)㈱ジェイアー ル西日本 福知山メンティック	指定管理者による管理 (指定管理者名)舞鶴市 舞鶴市役所西支所が併設	指定管理者による管理 (指定管理者名)職業訓練法 人 丹後地域職業訓練協会 特定独立行政法人雇用・ 能力開発機構との合築施設 (丹後地域職業訓練セン ター)		・ 情による管理 兵庫県勤労福祉協会			指定管理者による管理 (指定管理者名) 財団法人北 九州勤労青少年福祉公社 県・北九州市共同で設立
Q7	利用者数(20年度実績)	52,569人	56,247人	123,770人	117,557人	52,289人	29,252人	会議室等 345,528人	会議室等 243,222人 トレーニング室 2,098人			320,729人(本館施設 224,949人 体育施設95,780人)
Q8	料金(料金水準の 考え方)		京都府立勤労者福祉会館条例	削において利用料金の上限を設	定し、その範囲内で指定管理者	が知事の承認を得た上で決定		近傍類似施設のホ	斗金を勘案して設定			類似施設の料金を勘案して設定(使用料は県の収入)
Q9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)		21,711千円	23,673千円	23,441千円	19,080千円	16,574千円	72,935千円	41,893千円			120,629千円
Q10	公費投入額	11,743千円	15,000千円	15,698千円	14,900千円	12,704千円	14,096千円	47,233千円	22,455 千円			同上(県と北九州市で折半)
Q11	施設職員数	6名	6名	6名	5名	5名	4名	正規職員 3名 その他 4名	正規職員 2名 その他 2名			12人
Q12	その他(同様施設はないものの、同様のサービスを実施されている場合の手法・コスト等についてお教え下さい。)											

調査施設分類 (18 職業訓練 (府施設名称等 51~55 職業技術専門校))

都道府県名	大阪府	秋田県			神奈川県		
Q1 同様の施設の有無	あり	あり			あり		_
Q2 施設名称	大 阪 府 立 高 等 職 業 技 術 専 門 校	鷹 巣 技 術 専 門 校 田 技 術 専 門 校 大 曲 技 術 専 門 校	産 業 技 術 短 期 大 学 校	東 部 総 合 職 業 技 術 校		藤 沢 高 等 職 業 技 術 校	小 田 原 高 等 職 業 技 術 校
Q3 開設年月日	[守口校]昭和14年大阪府立傷痍軍人職業補導所として設立(現建物建築年次:昭和40年) (芦原校]昭和47年10月(現建物建築年次:平成3年) (東大阪校]平成元年4月(現建物建築年次:平成元年) (夕陽丘校]昭和24年4月大阪府中央公共職業補導所開設(現建物建築年次:平成12年) (南大阪校]平成18年1月(現建物建築年次:平成17年)		H7.4.1	H20.4.10	S 22 . 10 . 31	S 22.2.19	S 25.5.1
Q4 施設で実施している主な事 業	・求職者等を対象とする訓練 ・在職者を対象とする訓練(テクノ講座) ・事業主、事業主団体等が行う職業訓練に対し人材開発セミナーの貸出し	学卒者等を対象とした普通課程の職業訓練(2年) 離職者棟を対象とした短期訓練(6ヵ月) 在職者を対象とした短期訓練	専門課程の高度職業訓練 の実施、かながわ人材育 成支援センター事業、離 職者等委託訓練事業、在 職者訓練事業、職業訓練 指導員研修事業	(普通・短期課程の普通	職業訓練の実施 (普通・短期課程の普通 職業訓練、在職者訓練)	職業訓練の実施 (普通課程の普通職業訓 練、在職者訓練)	職業訓練の実施 (短期課程の普通職業訓 練、在職者訓練)
Q5 主な施設内容	[守口校]本館(事務室、講堂等)、実習場、教室等 [芦原校]事務室、実習室、講堂、職員室、会議室、屋上(パレーポールコート、テニスコート)、グラウント゚ [東大阪校]校舎棟(事務室、教室等)、実習棟(実習場、体育館等)、グランド、試走場 [夕陽丘校]職員室、実習室、視聴覚室、講堂(体育館)ほか [南大阪校]本館管理棟、実習棟(北、南)、多目的ホール、人材開発センター等	教室棟、実習棟、民間訓 練棟 (鷹巣、大曲)職業訓練 センター (秋田校)体育館、講堂	東キャンパス (本館棟、実験実習棟、 体育館他) 西キャンパス (訓練棟、訓練実習棟、 共同訓練棟他)	校舎棟、調理室内施工実 習棟、実習棟	本館棟、実習棟、訓練棟 他	校舎棟 (A・B・C館、校庭)	本館
Q6 管理運営形態	直営	県立直営	県立県営	県立県営	県立県営	県立県営	県立県営
Q7 利用者数(20年度実績)	求職者等入校者数:1,269人 テクノ講座受講者数:1,307人	1,176名	2,602人	2,269人	931人	767人	293人
Q8 料金(料金水準の考え方)	・求職者・離職者に対して行われる職業訓練については職業能力開発促進法に基づき無料 ・テクノ講座については各講座ごとに定める受講料(教材費、実習用消耗品、講師謝礼の一部など、講座実習に必要な経費)を徴収	入校試験手数料 2,200円 授業料月額 9,900円 公立高校と同額とし た。 受益者負担、公平性の	18,000円 入学料 県内在住112,800円 その他 263,300円 授業料 390,000円 (年額)	入校検定料 2,200円 入校料 5,650円 授業料年間 118,800円 (県立高校と同額) 短期課程 無料	普通課程 入校検定料 2,200円 入校料 5,650円 授業料年間 118,800円 (県立高校と同額) 短期課程 無料 在職者訓練受講料 1,500円 (2日)	普通課程 入校検定料 2,200円 入校料 5,650円 授業料年間 118,800円 (県立高校と同額) 短期課程 無料 在職者訓練受講料 1,500円 (2日)	短期課程 無料 在職者訓練受講料 1,500円 (2日)
Q9 施設運営に係る事業費 (20年度実績)	205,162千円	83,298千円	44,130,916円	51,846,669円	9,287,158円	10,519,849円	6,018,350円
Q10 公費投入額	205,162千円	59,725千円	0円	31,047,669円	3,291,050円	3,727,873円	2,132,697円
Q11 施設職員数	常勤34人、非常勤6人	82名 職 員 53名 非常勤・臨時 29名	74名	83名	19名	12名	10名
その他 同様施設はないものの、 同様のサービスを実施され て いる場合の手法・コスト等に ついてお教え下さい。		3校に分割しての記載は 不可とのこと					

都证		神奈川県		 静[愛:		
Q1	同様の施設の有無	あり		a de la companya de l	(וי			ਰ ਰ	51)	
Q 2	施設名称	秦 野 高 等 職 業 技 術 校	沼津技術専門校	清水技術専門校	浜 松 技 術 専 門 校	あ し た だ 職 業 訓 練 枝	か名 古 屋 高 等 交技 術 専 門 校	岡 崎 高 等 技 術 専 門 校	一 宮 高 等 技 術 専 門 杉	窯 業 高 等 技 術 専 門 校
Q3	開設年月日	S 33.6.1	S 3 7 . 4	S 1 3 . 4	S 1 3 . 4	S 5 5 . 4	S 3 8 . 1	S 2 1 . 6	S 3 6 . 4	S 2 1 . 1 2
Q 4		職業訓練の実施 (普通・短期課程の普通 職業訓練、在職者訓練)	にした普通課程(2年)	にした普通課程(2年)	求職者及び在職者を対象 にした普通課程(2年) 及び短期課程の職業訓練	た普通課程(1年)及び	短期課程訓練	普通課程訓練 短期課程訓練	短期課程訓練	短期課程訓練
Q 5		本館、第1実習棟、第2実 習棟、体育館兼第3実習 棟、第4実習棟、運動場他	本館棟、実習棟、講堂		本館棟、実習棟、多目的 ホール、運動場	実習室、寮	本館、実習場、体育館、人材開発センター	本館、実習場、人材開発 センター	本館、実習場、人材開発 センター	本館、実習場
Q6	管理運営形態	県立県営	県立県営	県立県営	県立県営	県立県営	直営	直営	直営	直営
Q 7	利用者数(20年度実績)	557人	164名	128名	178名	48名	337名	208名	121名	50名
Q8		入校検定料 2,200円 入校料 5,650円 授業料年間 118,800円 (県立高校と同額) 短期課程 無料	高等学校に準ずる 授業料 118,800円 入校料 5,650円 検定料 2,200円 短期課程 離職者対象 無料	高等学校に準ずる	普通課程 高等学校に準ずる 授業料 118,800円 入校料 5,650円 検定料 2,200円 短期課程 離職者対象 無料 在職者対象 実費相当	無料	(高等学校と同額) 授業料 60,000円	入校検定料 4,400円 (高等学校の倍) 入校料 5,650円 (高等学校と同額) 授業料 60,000円 (高等学校の1/2)	なし	なし
Q 9	施設運営に係る事業費 (20年度実績)	7,524,880円	102,365千円 (概算)	84,370千円 (概算)	152,158千円 (概算)	42,028千円 (概算)	357,340千円	174,699千円	119,113千円	39,704千円
Q10	公費投入額	2,666,559円	67,850千円 (概算)	46,194千円 (概算)	71,304千円 (概算)	36,058千円 (概算)	同上	同上	同上	同上
Q11	施設職員数	22名	19名	19名	20名	13名	33名	21名	15名	8人
Q12	その他 同様施設はないものの、 同様のサービスを実施され て いる場合の手法・コスト等に ついてお教え下さい。					注: 本施設は県立障害者職業 能力開発施設	AFA			

都证							 都府			
Q1	同様の施設の有無		あり			あ	(וו		あ	IJ
Q2	施設名称	高 浜 高 領技 術 専 門 材	等東 三 河 高 等 交技 術 専 門 校	愛知障害者職業能力開発校	京都高等技物専門校	陶 工 高 等 技 術 専 門 校	福 知 山 高 等城技 術 専 門 校技	成 陽 障 害 者 高 等 液 析 専 門 校	但 馬 技 術 大 学 校	神 戸 高 等 技 術 専 門 学 院
Q3	開設年月日	S36.10	S 2 3 . 4	S 2 7 . 1 0	S 20.11.1	S 21.8.1	S 20.11.1	S 54.7.11	S 2 1 . 1 0	S 2 4 . 1 0
Q 4	施設で実施している主な事業	短期課程訓練	普通課程訓練 短期課程訓練	普通課程訓練 短期課程訓練		在職者向け訓練		害者求職者向け訓練 職者向け訓練	公共職業訓練	公共職業訓練
Q 5	主な施設内容	本館、実習場	本館、実習場、人材開発 センター、体育館	本館、体育館、寄宿舎	教室・実習室(棟)・体 育館	教室・実習室(棟)・講 堂	教室・実習室(棟)・体 教 育館・運動場 堂		本館、実習棟、体育館、 寄宿舎他	本館、実習棟、体育館他
Q 6	管理運営形態	直営	直営	国立・県営	府立	府立	府立	府立	県立県営	県立県営
Q7	利用者数(20年度実績)	50名	50名	107名	432名	106名	556名	22名	施設内訓練在校者数150名 在職者訓練入校者数52名	施設内訓練在校者数263名 在職者訓練入校者数 78名
Q8	料金(料金水準の考え方)	なし	なし	なし	21年度まで無料 (但し、22年度入校に係る 入校選考料は21年度から 徴収) 平成22年度~有料 授業料 年間 118,800円 入校料 5,650円 入校選考料 2,200円 府立高等学校と同額 平成22・23年度について	21年度まで無料 (但し、22年度入校に係る 入校選考料は21年度から 徴収) 平成22年度~有料 授業料 年間 118,800円 入校料 5,650円 入校選考料 2,200円 府立高等学校と同額 平成22·23年度について	授業料・入校選考料等平成無 21年度まで無料 (但し、22年度入校に係る 入校選考料は21年度から 徴収) 平成22年度~有料 授業料 年間 118,800円 入校料 5,650円 入校選考料 2,200円 府立高等学校と同額 平成22・23年度について		授業料199,000円 (技能付与の対価として 2 年生に対し授業料を徴収)	無料
Q 9	施設運営に係る事業費 (20年度実績)	158,818千円	198,522千円	260,451千円	は、京都府在住者は授業 料、入校料免除 111,303千円	は、京都府在任者は授業 料、入校料免除 21,530千円	は、京都府任任者は授業 料、入校料免除 48,394千円	20,923千円	177,402千円 (他の一般校 2 校を含 む。)	177,402千円 (他の一般校 2 校を含 む。)
Q10	公費投入額	同上	同上	同上 (全額国庫)	3 校計) 国庫交付金18,775千円 を3 校で按分していない	3 校計) 国庫交付金18,775千円 を3校で按分していない	154,774千円 (京都・陶工・福知山校の 3校計) 国庫交付金18,775千円 を3校で按分していない ため	19,945千円	177,402千円 (他の一般校 2 校を含 む。)	177,402千円 (他の一般校 2 校を含 む。)
Q11	施設職員数	16名	20名	20名	32名	10名	17名	11名	28名	32名
Q12	その他 同様施設はないものの、 同様のサービスを実施され て いる場合の手法・コスト等に ついてお教え下さい。									

都证			 兵庫県			島.	 根県		徳:	 - - -
Q1	同様の施設の有無		あり			あ	あり しゅうしゅう		a a	נו
Q2	施設名称	姫路高等技術 専門学院	障害者高等技術専門学院	兵 庫 障 害 者職 業能力開発核	浜 田 高 等 技 術 校	松江高等技術核	出雲高等技術校	益田高等技術校	西 部 テ ク ノス ク ー ル	阿 南 テ ク <i>ノ</i> ス ク ー ル
Q3	開設年月日	S 2 0 . 1 1	S 4 8 . 4	S 2 6 . 1 0	S 2 1 . 4	S 2 0 . 1 0	S 2 2 . 3	S 2 1 . 8	H 9 . 4	S 3 9 . 4
Q 4	施設で実施している主な事業	公共職業訓練	公共職業訓練	公共職業訓練	(施設内訓練)建築科、 0Aシステム科、情報サービス 科、建設科 (委託訓練)離職者、障 害者在職者訓練	(施設内訓練)建築科、ルウスア-ト科、庭園技術科 (委託訓練)離職者、障 害者在職者訓練		建設科	新規学卒者を中心とした 職業訓練	新規学卒者を中心とした 職業訓練
Q 5	主な施設内容	本館、教室棟、訓練棟、 実習棟他	本館、寄宿舎他	本館、寄宿舎他	校舎、実習棟、体育館、グランド	校舎、実習棟、体育館、 寮、グランド		校舎、実習棟、体育館、 グランド	本館、実習棟、運動場、体育館、寄宿舎	本館、実習棟、運動場、 体育館、寄宿舎
Q 6	管理運営形態	県立県営	県立県営	国立県営	県立直営	県立直営	県立直営	県立直営	県立直営	県立直営
Q 7	利用者数(20年度実績)	施設内訓練在校者数201名 在職者訓練入校者数1,064 名		施設内訓練在校者数115名 在職者訓練入校者数 89 名	1 2 1 名 施設内 43名 委託離転職 66名 委託障害者 12名	3 1 1 名 施設内 33名 委託離転職 259名 委託障害者 19名	5 5 5 名 施設内 129名 委託離転職 411名 委託障害者 15名	153名 施設内 38名 委託離転職 106名 委託障害者 9名	入校者総数 69名	入校者総数 69名
Q8	料金(料金水準の考え方)	無料	無料	無料	授業料 (0Aシステム科のみ) 118,800円/年 入校料 (0Aシステム科のみ) 5,650円	授業料 (庭園技術科のみ) 118,800円/年 入校料 (庭園技術科のみ) 5,650円	授業料 (木工科以外) 118,800円/年 入校料 (木工科以外) 5,650円	授業料 (0Aシスステム科のみ) 118,800円/年 入校料 (0Aシステム科のみ) 5,650円	無料	無料
Q 9	施設運営に係る事業費 (20年度実績)	177,402千円 (他の一般校 2 校を含 む。)	198,948千円	120,933千円	14,442千円 人件費含まず	22,917千円 人件費含まず	50,483千円 人件費含まず	13,610千円 人件費含まず	31,836,861円 施設管理経費+訓練経費 なお、非常勤職員人件費 含む	
Q10	公費投入額	177,402千円 (他の一般校 2 校を含 む。)	198,948千円	120,933千円	14,442千円 収入は人件費充当	22,917千円 収入は人件費充当	50,483千円 収入は人件費充当	13,610千円 収入は人件費充当	29,110,813円	29,110,813円
Q11	施設職員数	26名	18名	22名	6名	10名	14名	6名	正 規 7名 非常勤等 9名	正 規 7名 非常勤等 9名
Q12	その他 同様施設はないものの、 同様のサービスを実施され て いる場合の手法・コスト等に ついてお教え下さい。									

都道府県名	徳	·····································				 福岡県			
Q1 同様の施設の有無		あり				あり			
Q2 施設名称	鳴 門 テ クス クープ						大 牟 田 高 等 技 術 専 門 校		小 倉 高 等 技 術 専 門 杉
Q3 開設年月日	S 4 0 . 4	S 2 1 . 2	福岡公共総合職業補導所	戸畑機械工補導所として 設立	S28.1直方公共補導	久留米職業訓練所として 設立		S 2 4 . 1 田川公共職業補導所とし て設立	S 4 2 . 4 戸畑職業訓練所小倉分所 として設立
	新規学卒者を中心とした 職業訓練	: 新規学卒者を中心とした 職業訓練	主に高卒者および離転職 者を対象とした公共職業 訓練	者を対象とした公共職業	者を対象とした公共職業		主に高卒者および離転職 者を対象とした公共職業 訓練		主に高卒者および離転職 者を対象とした公共職業 訓練
Q5 主な施設内容	本館、実習棟、運動場	本館、実習棟、運動場	(H20訓練科目) 自動車整備科、空調シス	(H20訓練科目) 3次元CAD/CAM科、機械 科、溶接科、介護サービ ス科	(H20訓練科目) プログラム設計科、自動	(H20訓練科目) メカトロニクス科、自動 車整備科、配管科、介護	(H20訓練科目) 電気設備科、OAビジネ	造科、OAシステム科、	本館、実習棟、運動場 (H20訓練科目) O A 事務科、エクステリア工芸 科、 インテリアサービス科、アパレル 工芸科
Q6 管理運営形態	県立直営	県立直営	県立県営	県立県営	県立県営	県立県営	県立県営	県立県営	県立県営
Q7 利用者数(20年度実績)	入校者総数 34名	入校者総数 269名	212名	81名	250名	125名	96名	120名	84名
	無料	無料	業料無料 但し、教科書代や作業服 代、資格取得受験料等は	業料無料 但し、教科書代や作業服 代、資格取得受験料等は	業料無料 但し、教科書代や作業服 代、資格取得受験料等は	業料無料 但し、教科書代や作業服	業料無料 但し、教科書代や作業服	業料無料 但し、教科書代や作業服	入校選考料、入校料、授 業料無料 但し、教科書代や作業服 代、資格取得受験料等は 実費
Q8 料金(料金水準の考え方)									
Q9 施設運営に係る事業費 (20年度実績)		124,117,616円 費 施設管理経費+訓練経費 費 なお、非常勤職員人件費 含む		45 ,752 ,639円	91,127,607円	64,312,442円	46,931,396円	132,204,314円	36,279,566円
Q10 公費投入額	14,344,459円	113,489,982円	38,163,856円	10,464,858円	31,537,109円	23,809,071円	17,511,587円	49,137,314円	13,627,139円
Q11 施設職員数	正 規 4名 非常勤等 5名	正 規 28名 非常勤等 37名	26名	13名	22名	15名	16名	17名	13名
その他 同様施設はないものの、 同様のサービスを実施され て いる場合の手法・コスト等に ついてお教え下さい。									

調査施設分類 (19 救急医療 (府施設名称等 56 泉州救命救急センター、57 中河内救命救急センター))

都這	道府県名	大	反 府	秋田県	神奈川県	静岡県	愛知県	京都府	兵庫県	島根県	徳島県	福岡県
Q 1	同様の施設の有無	b.	51)	回答なし	なし	なし	回答なし	回答なし	回答なし	なし	なし	なし
Q 2	施設名称	大阪府立泉州救命救急セン ター	大阪府立中河内救命救急セン ター									
Q 3	開設年月日	平成6年10月3日	平成10年5月6日									
Q4	施設で実施してい る主な事業	重篤患者の受入等3次救急医 療	重篤患者の受入等3次救急医 療									
Q5		30床(ICU8床、一般病床22 床)	30床(ICU8床、一般病床22 床)									
	官理是日形思	指定管理者による管理	指定管理者による管理 (指定管理者名) 財団法人大 阪府保健医療財団									
Q 7	利用者数(20年度 実績)	6,622人	9,085人									
Q8	料金(料金水準の 考え方)	国民健康保険法、老人保健法等の法令に基づく	国民健康保険法、老人保健法 等の法令に基づ〈									
	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	1,583,741千円	1,635,311千円									
Q10	公費投入額	949,201千円	858,158千円									
Q11	施設職員数	常勤96人、非常勤8人	常勤94人、非常勤5人									
Q12	その他(同様施設はないものの、同様のサービスを実施されている場合の手法・コスト等についてお教え下さい。)											

調査施設分類 (20 介護情報提供 (府施設名称等 58 介護情報・研修センター))

都這	道府県名	大阪府	秋田県	神奈川県	静岡県	愛知県	京都府	兵庫県	島根県	徳島県	福岡県
Q1	同様の施設の有無	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
Q2	施設名称	大阪府立介護情報・研修センター									
Q3	開設年月日	平成6年4月1日									
Q4	加設で天心してい	介護講座開催事業、福祉用具展示事 業、介護相談事業、専門職の養成・育成 研修事業 等									
Q5	主な施設内容	福祉用具展示場(545㎡) 第一会議室(150名、237㎡、1室) 第二会議室(40名、62㎡、1室) 調理実技室(44㎡、1室)									
Q6		直営(平成21年度~) ※20年度までは指定管理									
Q7	利用者数(20年度 実績)	29,598人									
Q8	料金(料金水準の 考え方)	原則、施設の貸出は実施していない。									
Q9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	89,000千円									
Q10	公費投入額	92,108千円									
Q11	施設職員数	常勤8人									
Q12	その他(同様施設 はないものの、同 様のサービスを実 施されている場等 の手法・コスト等に ついてお教え下さ い。)		秋田県介護実 習・普及セン ター運営事業 を(財)秋伝 長寿社会 駅団に委託に より実施(H20 実績16212人)		静岡県介護実習・普及センター運営事業を(財)して事業を(財)して事業を(財)して事業を(財)して事業を(H20実施(H20実績28827千円)					徳島県介護実 習・普及セン ター運営事業 を(社福)健祥 会に委託によ り実施(H20実 績16680千円)	福岡・普及センター運営・ 国・普及センター運営事社会 福祉協議会に 委託し実績 (H20実績 46256千円)

調査施設分類 (21 肢体不自由児施設 (府施設名称等 59 大阪府立整肢学院))

都	道府県名	大阪府	秋田県	神奈川県	静岡県	愛	知県	京	都府	兵庫県	島根県	徳島県	福岡県
Q1	同様の施設の有無		なし	なし	なし		ა გს		5り	なし	なし	なし	あり
Q2	施設名称	大阪府立整肢学院				愛知県青い鳥医療福祉センター	愛知県立心身障害児療育センター第二 青い鳥学園	京都府立こども発達支援センター (愛称:すてっぷセンター)	府立舞鶴こども療育センター				福岡県立粕屋新光園
QЗ	開設年月日	昭和27年9月1日 (昭和62年3月31日移転)				肢体(入所):昭和30年6月1日、肢体(通 所):平成12年4月1日 重心施設:平成10年4月1日	昭和39年4月1日	平成15年10月	昭和54年4月				昭和29年4月1日
Q4		身体の不自由な児童を入所、又は通園させて、機能訓練等を行い、機能の回復を図るとともに、社会生活に適応できるよう、学校教育や生活指導を行っている。				る。 重症心身障害児施設:重度の知的障害 及び十度の肢体不自由が重複している	: 上肢、下肢または体幹の機能に障害の ある児童を治療するとともに独立生活に 必要な知識・技能を与える。 肢体不自由児施設(人所・護の日ー一時 支援、整形外科、小児科、精神科、泌尿	名] 肢体不自由児通園施設 [定員 30名] 重症心身障害児(者)通園B型 [定員 5	肢体不自由児施設:病院[定員 60名]				児童福祉法に基づく肢体不自由児施設であり、上肢・下肢または体幹に機能障害のある児童に対して手術や機能回復訓練を行い、不自由さを軽減または悪化を予防しながら、学校教育も受けられる児童福祉施設。
Q5	主な施設内容	定 員 肢体不自由児施設 100人 肢体不自由児通園施設 40人				肢体不自由児施設(定員50人) 重症心身障害児施設(定員120人) 肢体不自由児通園施設(定員20人) 外来診療 (精神、小児科、外科、整形外 科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉 科、リハビリ)		知的障害児通園施設 [定員 30名] 肢体不自由児通園施設 [定員 30名] 重症心身障害児(者)通園B型 [定員 5名]	肢体不自由児施設:病院[定員 60名]				定員 母子棟 20名 一般棟 60名 重度棟 30名 計 110名 プレイルーム・食堂・機能訓練室・手術 室・検査室・X線室等
Q6	管理運営形態	指定管理者による管理 (指定管理者名)社会福祉法人 恩賜財 団済生会支部 大阪府済生会				指定管理者による管理 (指定管理者)社会福祉法人恩賜財団済 生会支部愛知県済生会)	指定管理者による管理 (指定管理者)社会福祉法人 愛知県厚 生事業団	指定管理者による管理 (指定管理者)社会福祉法人 京都府社 会福祉事業団	指定管理による管理 (指定管理者名)国家公務員共済組合連 合会				直営
Q7	利用者数(20年度 実績)	43.973人				肢体不自由児施設 延べ入所児数 10,358人 重症心身障害児施設 延べ入所児数 43,754人 肢体不自由児通園施設 延べ入所児数 1,723人 外来診療 延べ25,137人	入所:延べ利用人員12,958人 通所:延べ利用人員1,606人 外来延べ利用人員:23,302人	知的障害児通園施設:年度末入所児童4 3人 肢体不自由児通園施設:年度末入所児 童39人 診療所:延べ診察件数10,196人	: (入院延べ人数)10,826人 (外来延べ人数)9,391人				月平均入園児数 24.0名(月初日在 籍者)
Q8	料金(料金水準の 考え方)	国民健康保険法等の法令に基づく				障害者自立支援法に基づく	障害者自立支援法に基づく	(指定施設支援を受ける者) ・児童福祉法第24条の2第2項に規定する厚生労働大臣が定める基準により算定した費用の額(診療を受ける者) ①診療報酬の算定方法(平成20年厚生労働省告示第59号)という。)に定めのある診療については、告示第59号に基づいて、告示第59号に表づいて、数表により算定する費用の額に相当する額(2①に定めのないものについては、実費相当額	(指定施設支援を受ける者) ・児童福祉法第24条の2第2項に規定する厚生労働大臣が定める基準により算定した費用の額(診療を受ける者)。①診療報酬の算定方法(平成20年厚生労働省告示第59号。以下「告示第59号」という。)に定めのある診療については、告示第59号に基づいて、告示第59号に基づいて、告示第59号に基づいて、告示第59号に基づいて、告示第59号に基づいて、告示第59号に基づいては、告示第59号に基づいては、告示第59号に基づいては、告示第59号に基づいて、各京第6章程の額に相当する額②入院時食事療養費に係る食事療養の費用の額の算定に関する基準(平成18年厚生労働省告示第99号に基づいては、告示第99号に基づいて算定する費用の額に相当する額③①及び②に定めのないものについては、実費相当額				国民健康保険法、児童福祉法、障害者 自立支援法等の 法令に基づく
Q9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	861,670千円				事務費:1,566,125,488円 事業費:239,512,969円 特別損失計上:51,357,560円 計 1,856,996,017円	人件費:510,280,751円 事務費:42,962,448円 事業費:123,382,848円 計676,626,047円	指定管理料262,493千円	指定管理料211,955千円				¥124,920,039
Q10	公費投入額	6,766千円				指定管理料としては、本来施設の受け取ることのできる措置費・・・108,717,000円		指定管理料262,493千円	指定管理料 211,955千円 退職金補助金 55,284千円 備品購入費 2,945千円 給水設備工事費2,284千円 計272,468千円				
Q11	施設職員数	常勤100人				常勤182人、非常勤42人	64人	職員定数36[現員35、欠員1]名 *欠 具は栄養±1 施設長1,事務3,コーディネーター1,PT4,OT 3,ST4,心理判定員3,児童指導員1,保育 ±9(4),医師3(8),看護師3(4),栄養±(1), 調理員(3),検査技師(2)	…上記のほか、非常勤10名[現員8名]				84名
Q12	その他(同様施設はないものの、同様のサービスを実施されている場合の手法・コスト等についてお教え下さい。)												

調査施設分類 (22 児童館 (府施設名称等 60 ビッグバン))

都	直府県名	大阪府	秋田県	神奈川県	静岡県	愛知県	京都府	兵庫県	島根県	徳島県	福岡県
Q1	同様の施設の有無	あり	あり	なし	なし	あり	なし	あり	なし	なし	なし
Q2	施設名称	府立大型児童館ビッグバン	秋田県児童会館			愛知県児童総合センター		兵庫県立こどもの館			
QЗ	開設年月日	平成11年6月23日	S25,8,1開館、S55,4,1移転(現在に至る)			平成8年7月24日(愛知万博開催のため、平成14~17年度は休館)		平成元年7月21日			
Q4	施設で実施してい る主な事業	王昭尹未、工方尹未、イツアノ尹未、丁 に+	全館事業 子ども劇場事業(主に貸館) 移動児童会館事業 等			・大規模な遊具により遊び体験の提供 ・遊具や遊びのプログラムの開発や情報 収集・調査 ・地域の遊びの指導者の養成・研修 ・遊びや子育てに関する情報発信や移 動児童館による遊びの普及啓発		演劇活動・創作活動・図書活動・まちの 子育て広場への指導員派遣・各種研修 会			
Q5		・遊具の塔 ・劇場棟(300人収容) ・交流広場(2, 683㎡)	子ども劇場(778席)、 レクレーションホール(小舞台、大型遊具等)、 プラネタリウム(44席)、図書室、展示室、化学実験室等			プレイアトリウム、発見ゾーン「音・光」、 遊びのスタジオ、幼児コーナー、子育て ひろば 等		円形劇場 屋外劇場、親子遊戯室 展望広場、おやべりひろば、イベント広場 児童図書室、多目的ホール、木とのふれあいワールド、体験学習コーナー等			
Q6	管理運営形態	(指定管理者名) (財) 大阪府地域	指定管理者による管理 (指定管理者名:NPO法人あきた子ども ネット)			指定管理者による管理 指定管理者名:財団法人愛知公園協会		県直営			
Q7	利用者数(20年度実績)	244,764人	103, 017人(年齢構成等の内訳なし)			406, 949人 (乳幼児139, 664人、小学生99,959人、 中学生3,700人、一般(無料)8,549人、一 般(有料)155,077人)		館内事業303,346人(うち児童155,562・成人147,784人) 館外事業42,428人(うち児童23,972・成人18,456人)			
Q8	料金(料金水準の 考え方)	・入館料(大人1,000円、中学生800円、 小学生600円、3歳以上の幼児400円、た だし団体は2割引) ・駐車場(700円/3時間、超過1時間300円) ・シミュレーションシアター(300円/1人1回) (料金水準の考え方) ・近隣の類似施設の料金と同水準 ・運営コスト(人件費及び事業費)と入館 予定者数をもとに設定	(入館料) 無料			(入場料) 中学生以下無料、その他300円(20人以 上の団体利用の場合は240円) (料金水準) ・子育て家庭が低廉に利用できるような 料金設定としている。 ・平成8年度の開園以来、入場料の改定 は行っていない。		なし			
Q9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)		67,740千円(うち人件費 32,576千円)			255,630,468円(内人件費支出 160,684,000円)		正規職員人件費(96,548,187)円+ 104,856,357円(こどもの館運営費20年度 決算額)			
Q10	公費投入額	57,390千円	60,735千円			255, 630, 468円		上記全額			
Q11	施設職員数	常勤2名 非常勤8名(館長1名、1年雇用嘱託職員 7名)	15名(館長1名、副館長1名、常勤職員 8人、非常勤5人)			19名 内訳:常勤職員15名(センター長1名、顧問(前センター長)1名、正規職員12名、 期限付き職員1名) 非常勤職員4名(嘱託) 他アルバイト職員		館長1名、正規職員12名(うち1名育児休 業中)、非常勤嘱託員20名、臨時的任用 職員2名、日々雇用職員2名			
Q12	その他(同様施設はないものの、同様のサービスを実施されている場合の手法・コスト等についてお教え下さい。)					県立児童厚生施設として、大型児童遊園を2箇所設置している。(愛知こどもの国、海南こどもの国) 指定管理者による管理を行っている。					

調査施設分類 (23 児童自立支援施設 (府施設名称等 61 修徳学院))

都	道府県名	大阪府	秋田県	神奈川県	静岡県	愛知県	京都府	兵庫県	島根県	徳島県	福岡県
Q1	同様の施設の有無	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり	あり
Q2	施設名称	大阪府立修徳学院	千秋学園	おおいそ学園	静岡県立三方原学園	愛知学園	京都府立淇陽学校	明石学園	島根県立わかたけ学園	徳島学院	福岡学園
Q3	開設年月日	明治40年4月創立認可(淀川区)/大正12年4月移転(柏原市高井田)/昭和48年3月本館改築	昭和23年1月1日	明治44年1月 前身となる神奈 川県薫育院国府分院を現在地 に設置(感化法による感化院) 昭和23年1月 児童福祉法によ る教護院に変更	明治43年2月	昭和23年1月1日	昭和23年1月1日(児童福祉法施行)	明治42年3月1日	昭和23年1月1日(児童福祉法施行)	昭和23年1月1日(児童福祉法 施行)	昭和3年4月
Q4	施設で実施してい る主な事業	児童の生活指導、作業指導、 学習指導、家庭環境の調整ほ か	生活指導・学習指導・作業指 導・家庭環境の調整	児童自立支援施設として、不良 行為をなし、又はなすおそれの ある児童及び家庭環境その他 の環境上の理由により生活指 導等を要する児童を入園させ、 個々の児童の状況に応じて必 要な指導を行い、その自立を支 援し、あわせて退所した者につ いて相談その他の援助を行う。	生活指導・学習指導・作業指導	生活指導・学習指導・作業指 導・家庭環境の調整	生活指導·学習指導·作業指導·進路指導·保健指導 •人権指導	生活指導・学習指導・クラブ活動指導・農園芸作業指導	生活指導・学習指導・作業指 導・家庭環境の調整	生活指導・学習指導・作業指 導・家庭環境の調整	生活指導、スポーツ指導、作業 指導、進路指導、 帰省訓練、学習指導
Q5	主な施設内容	定員:250名(実質定員141名/ 暫定定員132名) 本館・別館:教室、事務室、会 議室、講堂、木工教室、厨房 棟、洗濯棟、運動場、体育館、 ブール、みかえりの塔 寮舎:男子8寮、女子4寮	本館、体育館、男子棟(2)、女子棟、食堂、	校舎棟、入所棟、体育館、プー ル、グラウンド、職員公舎	本館、体育館、給食棟、洗濯棟、寮舎(男子寮2棟3寮、女子寮1棟2寮)	管理棟・校舎・講堂・医療棟 ・寮舎(1棟2寮×3棟) 作業棟	本館・教室棟・炊事棟・工作棟・ 体育館・寮舎(4ヶ寮)	教育管理棟·職業指導棟·体育館·調理棟·寮舎(10寮)	本館、体育館・プール・グラウンド、厨房棟、寮棟(5棟)、農園	本館、新館、体育館、技術 棟、炊事棟、寮舎(2棟4寮)、 農具倉庫、車庫、ボイラー室	本館、分校、体育館、調理棟、 観察寮、児童寮(5寮)
Q6	管理運営形態	直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営
Q7	利用者数(20年度 実績)	で 74名(延べ1,085名)	417名(月別入所者合計·月初 最大38名)	435人(月別初日在籍者数の合計)	年間延530名(月初最大55 名)	330人(月初最大32人)	年間延391名(月初最大36 名)	年間延べ809名(月初最大76 名)	年間延268名(月初最大26 名)	年間延139名(月初日最大14名)	年間延539名(月初最大50 名)
Q8	料金(料金水準の 考え方)	児童福祉法に基づき無料(児童 福祉法第56条に基づく費用負 担あり)	児童福祉法第56条に基づく費 用徴収(応能負担)	利用者からは徴収しない(別 途、指定都市負担金あり)	児童福祉法第56条に基づく費 用徴収(応能負担)	児童福祉法第56条に基づく費 用徴収	児童福祉法第56条に基づく費 用徴収(応能負担)	児童福祉法第56条に基づく費 用徴収	児童福祉法第56条に基づく費 用徴収(応能負担)	児童福祉法第56条に基づく費 用徴収(応能負担)	児童福祉法第56条に基づく費 用徴収(応能負担)
Q9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	732,845千円	80,013千円	63,010千円	106,658千円	52,413千円(職員給与除く)	40,804千円	95,929千円	63,817千円	36,148千円	93.521千円 ※筑後いずみ園分との合算額
Q10	公費投入額	732,845千円 (うち人件費約5.9千万円)	78,209千円	63,010千円	106,658千円	52,413千円(職員給与除く)	40,804千円	95,929千円	63,817千円	36,148千円	93,521千円
Q11	施設職員数	常勤38人、非常勤16人	30名(常勤18名·非常勤12 名)	59人(常勤38人•非常勤21人)	51名(常勤37名(うち兼務2 人)・非常勤14名)	46人(常勤41人·再任用1人·嘱 託員4人)	25名(うち非常勤2名)	43名(常勤29人、非常勤14名)	59名(正規23名·嘱託·臨時3 6名)	31名(常勤21名·非常勤10名)	49名(常勤32名、非常勤17 名)
Q12	その他(同様施設はないものの、同様のサービスを実施されている場合の手法・コスト等についてお教え下さい。)	<u> </u>	_			_				_	-

調査施設分類 (24 児童自立支援施設 (府施設名称等 62 子どもライフサポートセンター))

都	道府県名	大阪府	秋田県	神奈川県	静岡県	愛知県	京都府	兵庫県	島根県	徳島県	福岡県
Q1	同様の施設の有無	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
Q2	施設名称	大阪府立子どもライフサポートセンター									
QЗ	開設年月日	平成15年4月1日									
Q4	施設で実施してい る主な事業	生活支援プログラム(体験活動、体験学習)、心理支援プログラム(ふれあい自己発見、心理カウンセリング)、学習支援プログラム、職業支援プログラム、家族支援プログラム(家族カウンセリング、保護者会)									
Q5	主な施設内容	定員:入所50名、通所30名 宿泊棟:居室、ミーティングルーム 研修棟:多目的ホール、研修室、相談 室、会議室、ライブラリー、OAルームなど グラウンド、食堂									
Q6	管理運営形態	直営									
Q7	利用者数(20年度 実績)	(入所)30人(延べ360人) (通所)7人(延べ130人)									
Q8		児童福祉法に基づき無料(児童福祉法第 56条に基づく費用負担あり)									
Q9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	357,997千円									
Q10	公費投入額	357,997千円									
Q11	施設職員数	常勤38人(うち役員2人)、非常勤4人									
Q12	その他(同様施設はないものの、同様のサービスを実施されている場合の手法・コスト等についてお教え下さい。)										

調査施設分類 (25 障がい者(児)施設 (府施設名称等 63 金剛コロニー))

都道	直府県名	大阪府		秋田県		神奈川県	静岡県		愛知県		京都府	兵庫県	島根県	徳島県	福岡県
Q1	同様の施設の有無	あり		あり		あり	なし		あり		あり	なし	なし	なし	なし
Q2	施設名称	大阪府立金剛コロニー	阿桜園	高清水園	心身障害者施設コロニー	秦野精華園 厚木精華園 愛名やまゆり園 津久井やまゆり園		愛知県弥富寮	愛知県藤川寮	愛知県半田更生園	京都府立桃山学園				
QЗ	開設年月日	昭和45年4月1日	S39年8月知的障害児施設として発足、H2年4月児者併設	S27年8月知的障害児施設として発足、H9年4月児者併設	S46年5月知的障害者施設として発足、H19年4月新体系移行	秦野精華園(平成2年5月) 厚木精華園(平成6年7月) 愛名やまゆり園(昭和61年1 月) 津久井やまゆり園(昭和39年2		平成11年5月1日	昭和52年5月1日	平成12年4月1日	昭和23年				
Q4	施設で実施している主な事業	個別支援計画に基づく利用者 の支援	じ、必要な介護・訓練及び支援 等のサービスを提供し、その自	障害者の有する能力・適正に応じ、必要な介護・訓練及び支援 等のサービスを提供し、その自立と社会活動への参加を促進する	じ、必要な介護・訓練及び支援 等のサービスを提供し、その自			知的障害者を入所させて保護 するとともに、この更生に必要な 指導及び訓練を行う。 知的障害者入所更生施設、短 期入所事業、地域生活支援事 業の日中一時支援。	知的障害者を入所させて保護 するとともに、この更生に必要が 指導及び訓練を行う。 知的障害者入所更生施設、短 期入所事業、地域生活支援事 業の日中一時支援。		在宅生活が困難な知的障害児 の保護、育成を図り、自立支援 を行う				
Q5	主な施設内容	知的障がい児施設 定員 100人 知的障がい者更生施設 定員 460人 知的障がい者授産施設 定員 160人	護64名、生活訓練12名、短期 入所)	定員100名 施設入所支援 60名(生活介 護52名、生活訓練8名、短期入 所) 知的障害児施設 40名		秦野精華園(施設入所支援10 0名、短期入所10名) 厚木精華園(施設入所支援11 0名、短期入所2名) 愛名やまゆり園(施設入所支援 110名、短期入所10名) 津久井やまゆり園(施設入所支 援150名、短期入所10名)		知的入所更生施設 定員80名	知的入所更生施設 定員80名	i 知的入所更生施設 定員140名	知的障害児施設 定員 30名 短期入所 (空床型)定員3名 日中一時支援 (児童養護施設の併設)				
Q6	管理運営形態	指定管理者による管理 (指定管理者名)社会福祉法人 大阪府障害者福祉事業団	指定管理者による管理 (福)秋田県社会福祉事業団	指定管理者による管理 (福)秋田県社会福祉事業団	指定管理者による管理(福)秋田県社会福祉事業団	県立民営		指定管理者による管理 (指定管理者)社会福祉法人 愛知県厚生事業団	指定管理者による管理 (指定管理者)社会福祉法人 愛知県厚生事業団	指定管理者による管理 (指定管理者)社会福祉法人 愛知県厚生事業団	指定管理者による管理 (指定管理者名)社会福祉法人 京都府社会福祉事業団				
Q7	利用者数(20年度 実績)	延べ178,355人	40, 940人	35, 055人	169, 143人	秦野精華園(施設入所支援 延 ベ利用人数1,195名) 厚木精華園(施設入所支援 延 ベ利用人数1,340名) 愛名やまゆり園(施設入所支援 延べ利用人数1,289名) 津久井やまゆり園(入所更生 延べ利用人数1,763名) ※注久井やまゆり園は、平成2 1年度より新事業体系へ移行		(述べ利用人員) 27,794人	(延べ利用人員) 28,816人	(延べ利用人員) 50,147人	20年度 知的障害児施設 延べ334人 短期入所 延べ362人 日中一時支援 延べ297人				
Q8	料金(料金水準の 考え方)	障害者自立支援法に基づく			障害者自立支援法等の法令に 基づく	障害者自立支援法に基づく		障害者自立支援法に基づく	障害者自立支援法に基づく	障害者自立支援法に基づく	障害者自立支援法及び京都府 障害児等福祉サービス等支援				1
Q9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)			314, 086千円	1, 367, 762千円	秦野精華園(歳出745,860,922 円、歳入772,183,703円) 厚木精華園(歳出648,802,463 円、歳入669,923,610円) 愛名やまゆり園(歳出 912,415,526円、歳入 954,180,234円) 津久井やまゆり園(歳出 1,032,076,062円、歳入 1,058,431,160円)		人件費: 207,061,792円 事務費: 45,566,691円 事業費: 52,750,865円 計305,379,348円	人件費: 240,700,204円 事務費: 10,381,867円 事業費: 60,202,341円 計311,284,412円	人件費:314,626,588円 事務費:41,447,973円 事業費:91,498,311円 計447,572,872円	給付支給要綱に基づく 知的障害児施設 270, 199, 181円 (児童養護施設 118, 973, 1 34円)				
Q10	公費投入額	1,340,931千円	73, 548千円	74, 636千円	234, 513千円	秦野精華園(指定管理費 198,951,000円) 厚木精華園(指定管理費 253,140,000円) 愛名やまゆり園(指定管理費 424,415,000円) 津久井やまゆり園(指定管理費 598,453,000円)		24,673,543円	28,293,427円	35,250,699円	知的障害児施設 184, 48 7, 000円 (児童養護施設111, 478, 00 0円)				
Q11	施設職員数	常勤220人、非常勤87人	61名	55名	216名	秦野精華園(正規84人) 厚木精華園(正規73人) 愛名やまゆり園(正規97人) 津久井やまゆり園(正規130 人)		28人	31人	46人	総務11名 知的障害児施設18名 児童養護施設16名				
	その他(同様施設 はないものの、同 様のサービスを実 施されている場合 の手法・コスト等に ついてお教え下さ い。)														

調査施設分類 26 障がい者施設 (府施設名称等 64 障がい者交流促進センター、65 稲スポーツセンター))

都追	直府県名	大	反府	秋田県	神奈川県	静岡県	愛知県				島根県	徳.	島県	福岡県	
Q1	同様の施設の有無	# b	N	なし	なし	なし	なし	なし		あり		あり	ā	59	なし
Q2	施設名称	大阪府立障がい者交流促進セ ンター	大阪府立稲スポーツセンター						研修交流センター (県立西播磨総合リハビリテー ションセンター内)	兵庫県立障害者スポーツ交流 館	ふれあいスポーツ交流館	島根県立はつらつ体育館	障害者交流センター	障害者スポーツセンター	
QЗ	開設年月日	昭和61年4月1日	平成8年4月1日						平成18年7月1日	平成18年5月1日	平成18年7月1日	昭和54年8月15日	平成18年4月1日	平成18年4月9日	1
	施設で実施してい る主な事業	文化活動、スポーツ、リクリェーション活動、各種相談	スポーツ指導、スポーツ教室の 開催等						研修事業 福祉用具展示·相談事業 専門人材派遣事業 交流事業	スポーツ指導 スポーツ教室の開催	スポーツ指導 スポーツ教室の開催	・体育館の施設及び設備の使用の許可・施設等の使用料の徴収・施設等の維持管理	ホランティアの養成、就労訓練 以下、自主事業 福祉セミナー、地域防災 フォーラム、障害者の自立支援 事業 企画展の開催	各種競技会	
Q5	主な施設内容	温水プール(25m×11m、5 コース、スローブ付) 多目的広場(13,000㎡) 体育館(821㎡) ルーニング室(278㎡) アーチェリー場(30m×5立) 大ホール(収容人員椅子席400 名) 会議室(収容人員24名×3室) 他	体育館(744.20㎡) トレーニング室(62.18㎡) 和室(15畳×2室)(87.49㎡) 会議室(41.79㎡) サークル室(83.91㎡)						福祉用具展示ホール 交流ホール 研修空 サークル室 屋外広場 等	アリーナ (1,392.6㎡) トレーニングルーム (168㎡)	アリーナ (1,392.6㎡) トレーニングルーム (111㎡) 温水プール (757㎡)	体育室、ミーティングルーム	盲人卓球室、研修室 100人、 調理実習室 15人、アートワー クルーム 20人、 ブレイルーム 15人、OA研修 室 30人	温水プール(25m×6コース)	
Q6	管理運営形態	指定管理者による管理 (指定管理者) 財団法人 大阪 府地域福祉推進財団 ※平成21年度より府直営	指定管理者による管理 (指定管理者名)社会福祉法人 大阪府障害者福祉事業団						指定管理者により管理 (指定管理者:兵庫県社会福祉 事業団)	指定管理者による指定管理 指定管理者:社会福祉法人兵庫 県社会福祉事業団	指定管理者による指定管理 5 指定管理者:社会福祉法人兵庫 県社会福祉事業団	指定管理	指定管理	指定管理	
	利用者数(20年 度実績)	187,047人	30,240人						17, 603人	67,155人	41,849人	9963人	52, 022人	66, 871人	
	料金(料金水準の 考え方)	大人 530円 小人270円 ・専用使用 午前 14,500円、午 後 20,300円、夜間 29,200円 全日 64,000円	(個人使用(体育館))大人 43 0円 小人 220円 (障害者と その介護者1名が使用する場合 は無料) (専用使用)・体育館 全日 [過 半数が大人:14,200円] [過 半数が小人:8,900円] ・和室1 全日 6,500円 ・会議室 全日 7,500円 ・サークル室1 全日 6,500 円 (障害者団体は、使用料の半						-	○アリーナ(バスケットコート1面) ■専用利用 午前:障害者2,500円、一般 5,000円 13:00~15:00:障害者1,750 円、一般3,500円 15:00~17:00: パ 18:00~21:00:障害者4,000 円、一般8,000円 ■個人利用 障害者・介助者:200円、一般:400円 ○トレーニングルーム 障害者:150円、一般:300円	○アリーナ(パスケットコート1面) ■専用利用 午前:障害者2,500円、一般 5,000円 13:00~17:00:障害者3,500 円、一般7,000円 18:00~21:00:障害者4,000 円、一般8,000円 ■個人利用 障害者・介助者:200円、一般:400円 ○トレーニングルーム 障害者:午前、13:00~17:00、18:00~21:00:300円、一般:600円 ○プール 障害者:午前、13:00~17:00、18:00~21:00:200円、一般:400円	無料上記以外は、時間帯により料金を設定している	研修室 午前8,900円、午後 11,800円、夜間10,700円 調理実習室 午前1,900円、午 後2,500円、夜間2,200円 プレイルーム 午前700円、午 後900円、夜間800円 アートワークルーム 午前2,800 円、午後3,700円、夜間3,300円 〇人研修室 午前5,000円、午後 6,600円、夜間3,900円 百人卓球室 2時間まで500円 (超過1時間250円)	8,000円、夜間7,700円 温水プール(2時間) 小学生300円、中学生500 円、一般600円 トレーニング室 中学生400円、 一般500円	
Q9	施設運営に係る事業費 (20年度実績)	224,453千円	49,128千円						24, 567千円	47,072千円		5, 771, 519円	123, 327, 492円	64, 306, 928円	
	公費投入額	222,417千円	47,049千円						22, 335千円	46,901千円 常勤職員数 5人(嘱託含む)	37,148千円 常勤職員数 5人(嘱託含む)	4, 500, 875円	79, 200, 450円	61, 915, 020円	
	施設職員数	常勤6人、非常勤4人	常勤2人、非常勤3人						正職員3名、嘱託員1名	(平成20年度)	(平成20年度)	常勤1名	8名	21名	
Q12	その他(同様施設はないものの、同様のサービスを実施されている場合の手法・コスト等についてお教え下さい。)														

調査施設分類 (27 障がい者施設 (府施設名称等 66 箕面通勤寮))

都证	道府県名	大阪府	秋田県	神奈川県	静岡県	愛知県	京都府	兵庫県	島根県	徳島県	福岡県
Q1	同様の施設の有無	あり	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
Q2	施設名称	大阪府立箕面通勤寮	水林通勤寮								
QЗ	開設年月日	平成8年4月1日	S62年4月知的障害者通勤寮として発足								
Q4	施設で実施してい る主な事業	就労している知的障がい者に、居室等を 提供し、日常生活支援等に伴う支援を行 う	障害者の有する能力・適正に応じ、必要な訓練及び支援等のサービスを提供し、 その自立と社会活動への参加を促進する								
Q5	主な施設内容	居室 10室(二人部屋)	定員30名、旧法施設								
Q6	管理運営形態	指定管理者による管理 (指定管理者名) 社会福祉法人 大阪府 障害者福祉事業団	指定管理者による管理 (福)秋田県社会福祉事業団								
Q7	利用者数(20年度 実績)	延べ196人	8, 110人								
Q8	料金(料金水準の 考え方)	障害者自立支援法に基づく	障害者自立支援法等の法令に基づく								
Q9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)		32, 171千円								
Q10	公費投入額	35,972千円	1, 882千円								
Q11	施設職員数	常勤5人、非常勤2人	2名								
Q12	その他(同様施設 はないものの、同 様のサービスを実 施されている場合 の手法・コスト等に ついてお教え下さ い。)										

調査施設分類 (28 障がい者施設 (府施設名称等 67 砂川厚生福祉センター))

都	道府県名	大阪府	秋田県		神奈川県			織∥	愛知県	京都府	兵庫県	島根県	徳島県	福岡県
Q1	同様の施設の有無	あり	なし		あり			あり	あり	なし	なし	なし	なし	なし
Q2	施設名称	大阪府立砂川厚生福祉センター		ひばりが丘学園	三浦しらとり園	中井やまゆり園	静岡県立磐田学園	静岡県立浜松学園	愛知県心身障害者コロニー					
Q3	開設年月日	昭和36年10月10日		ひばりが丘学園(昭和24年7 月)	三浦しらとり園(昭和58年4月)	中井やまゆり園(昭和47年4 月)	昭和23年5月 精神薄弱児施設として設置 (平成11年1月 児童福祉法改正により知的障害児施設に)	昭和42年9月 知的障害児施設 として設置 (平成9年1月 種別変更により 知的障害者授産施設) (平成20年4月 新体系移行によ り障害者支援施設に名称変更)	昭和43年6月					
Q4	施設で実施している主な事業	生活支援の実施、所内作業及び職場実習の実施、余暇活動及びレクリエーション活動の実施、利用者の健康管理、退所者への支援、地域交流活動の推進、短期入所事業の実施、苦情解決体制の整備、サービス向上への取組み		長期入所・短期入所	長期入所・短期入所	長期入所・短期入所	定員100名	施設入所支援	障害児・者の施設入所支援、医療、職業能力開発及び教育 サービス、地域療育支援及び 学術研究					
Q5	主な施設内容	障がい者支援施設 いぶき(50名)、つばさ(30名) 知的障がい者更生施設 こんごう寮(60名) 管理棟、給食センター、生活訓 練棟ほか		ひばりが丘学園(知的障害児施 設80名、障害者支援施設20 名)	三浦しらとり園(知的障害児施 設40名、障害者支援施設112 名)	中井やまゆり園(施設入所支援 122名、短期入所18名)	管理棟及び入所棟 鉄筋コンクリート2階建×2棟 (延面積3,357.15㎡)	積440.58㎡)	重症心身障害児施設、知的障害児施設、障害者支援施設、短期母子療育施設、病院、障害者職業能力開発校、特別支援学校及び学術研究機関					
Q6	管理運営形態	直営		県立県営	県立県営	県立県営	直営	直営	県直営					
Q7	利用者数(20年度 実績)	こんごう寮:35人 あだご寮:13人 いぶき:40人 わかば寮(現在休止中):6人					入所758人	就労移行支援 10,633人	重症心身障害児施設(延1,995 人)、知的障害児施設(延872 人)、障害者支援施設(延1,233 人)、短期母子療育施設(延322 人)、病院(延入院38,699人、外来55,232人)、障害者職業能力開発校(実47人)					
Q8	料金(料金水準の 考え方)	障害者自立支援法に基づく		障害者自立支援法に基づく	障害者自立支援法に基づく	障害者自立支援法に基づく	障害者自立支援法に基づく定 率負担 食費等に係る実費負担	障害者自立支援法に基づく定率 負担 食費等に係る実費負担	関係法に定める額					
Q9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	1,188,239千円		ひばりが丘学園(292,941,800 円)	三浦しらとり園(414,197,007円)	さがみ緑風園(748,705,397円) 中井やまゆり園(276,094,705 円)	運営費 95,797千円 人件費 311,405千円 工事費 3,140千円(プールサイ ドモルタル面防水塗装、門扉改 修等)	運営費 84,472千円 人件費 170,859千円	7, 350, 678千円					
Q10	公費投入額	1,188,239千円		ひばりが丘学園(歳出 292,941,800円、歳入 317,344,098円) 常勤職員給与を除く。	三浦しらとり園(歳出 414,197,007円、歳入 522,724,055円) 常勤職員給与を除く。	中井やまゆり園(歳出 276,094,705円、歳入 475,014,947円) 常勤職員給与を除く。	同上	同上	4, 067, 929千円					
Q11	施設職員数	常勤147人、非常勤19人		ひばりが丘学園(正規92人、臨 時14人、)	記三浦しらとり園(正規108人、 臨時27人)	中井やまゆり園(正規117人、 臨時15人)	常勤37.5人(非常勤職員の常勤 換算分を含む)	常勤24.5人(非常勤職員の常勤 換算分を含む)	792人					
Q12	その他(同様施設はないものの、同様のサービスを実施されている場合の手法・コスト等についてお教え下さい。)						_	_						

調査施設分類 (29 障がい者施設(リハビリ等) (府施設名称等 68 障がい者自立センター))

都	直府県名	大阪府	秋田県	神奈川県	静岡県	愛知県	京都府	兵庫県	島根県	徳島県	福岡県
Q1	同様の施設の有無	あり	あり	あり	なし	なし	なし	なし	なし	なし	あり
Q2	施設名称	大阪府立障がい者自立センター	身体障害者更生訓練センター	さがみ緑風園							福岡県身体障害者リハビリテーションセ ンター
QЗ	開設年月日	平成19年4月1日	S36年7月、身体障害者施設として発足、H19年4月から新体系移行	さがみ緑風園(昭和45年12月)							昭和56年4月1日
Q4	旭設で美地してい スナか車業	支援プログラムの策定・実施、相談・介 護の生活支援などによる地域生活移行 支援	障害者の有する能力・適正に応じ、必要な訓練及び支援等のサービスを提供し、 その自立と社会活動への参加を促進する	長期入所·短期入所							障害者自立支援法に基づく障害者支援施設で、肢体不自由者を入所又は通所させて、医学的診査と評価管理の下に機能回復訓練、その他の社会復帰に必要な訓練指導を行い、社会活動への参加、並びに家庭復帰の促進を図ることを目的とする。
Q5		自立訓練90名 施設入所支援90名 (主な内容) 医務室、訓練室、居室、食堂、浴室、講 堂等	定員74名 施設入所支援 74名 (機能訓練78名、就労継続B型10名、 短期入所)	さがみ緑風園(施設入所支援148名、 短期入所12名)							定員 身体障害者更生施設 100名 (通所 6名) ※平成22年4月に新体系へ移行予 定。 体育館・理学療法室・ADL室・食堂・居 室等
Q6	管理運営形態	直営	指定管理者による管理 (福)秋田県社会福祉事業団	県立県営							指定管理者による管理 (平成18年4月1日〜平成23年3月3 1日:5年間) (指定管理者名) 社会福祉法人福岡 県厚生事業団
Q7	利用者数(20年 度実績)	61人(月平均)	25, 520人								月平均利用者数 94.8名 (通所 4.9名)
Q8	料金(料金水準の 考え方)	障害者自立支援法に基づく	障害者自立支援法等の法令に基づく	障害者自立支援法に基づく							障害者自立支援法に基づく
Q9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	287,530千円	160, 315千円	さがみ緑風園(748,705千円円)							¥313,279,680 (経常活動支出)
Q10	公費投入額	287,530千円	34, 264千円	さがみ緑風園(歳出748,705千円、歳入 734,892千円 常勤職員給与を除く。							委託料 ¥79,464,000
Q11	施設職員数	常勤33人、非常勤10人	29名	さがみ緑風園(正規103人、臨時16 人、)							正規職員 21名 臨時職員等 15名 計 36名(平成21年5月1日現在)
Q12	その他(同様施設はないものの、同様のサービスを実施されている場合の手法・コスト等についてお教え下さい。)										E. 33 H (1702 · 1 371 · H 781 L)

調査施設分類 (30女性保護施設 (府施設名称等69~71女性自立支援センター))

都	 道府県名		秋田県	神奈川県	静岡県	愛知県	京都府	兵庫県	島根県	徳島県	福岡県
Q1	同様の施設の有無	あり	あり	あり	あり	あり	あり	なし		あり	なし
Q2	施設名称	大阪府立女性自立支援センター	秋田県陽光園	神奈川県女性保護施設	静岡県婦人保護施設清流荘	白菊荘(婦人保護施設) 成願荘(婦人保護施設)	京都府婦人相談所			徳島県立婦人保護施設しらぎく 寮	
QЗ	開設年月日	平成9年4月1日	昭和33年6月1日	昭和43年4月1日	昭和34年4月1日	白菊荘(昭和22年~) 成願荘 (昭和35年~)	昭和31年10月1日			昭和39年4月1日	
Q4	施設で実施してい る主な事業	婦人保護事業	〇基本的な生活能力の習得、保健衛生、人間関係の構築、社会性の習得、金銭管理等の指導及び援助を行う「生活指導」 〇内勤、外勤の訓練をし、労働意欲の向上や社会適応能力の開発を図る「就労支援」	〇DV、生活困窮等、日常生活を営む上で困難を抱える女性の入所者に対し、社会復帰のための自立支援を行う「自立支援事業」 〇人身取引被害者の女性や売春防止法に基づき保護する必要のある女性の一時保護を行う「一時保護事業」	生の必要があると認められる) 者が、本人の意思で入所し、自立できるよう各々の適性に応じ	DV、生活困窮等、日常生活を営む上で困難を抱える女性の入所者に対し、社会復帰のための自立支援を行う。	①相談 ②一時保護及び一時保護委託 ③調査・判定及び嘱託医による 判定・助言等 ④助言・援助・施設入所 ⑤公報・啓発・研修			①要保護女子のみならず、DV、 生活困窮者等、社会生活を営む上で困難な状況がある女性 に対する「長期保護」 ②緊急に保護する必要がある 女性に対する「一時保護」	
Q5	主な施設内容	〇あゆみ寮 短期寮、生活棟・母子生活棟 (定員60名 が床面積1,098㎡ 居室27室) 〇よしみ寮 中期寮、生活棟 (定員40名 述床面積782㎡ 居室22室) 〇のぞみ寮 長期寮、生活棟 (定員50名 述床面積887㎡ 居室26室) 〇管理棟 事務所ほか(述床面積2,075㎡) 〇その他 ゴミ置場、駐輪場(述床面積38㎡)	定員:16名 延べ床面積:資料 なし 居室:8室 【面積参考】 母子福祉総合センター(延べ 床面積885㎡、3階建)の3階部 分が婦人保護施設(1・2階は婦	定員70名、延床面積1906. 9 2㎡、居室数23室	定員20名 述床面積698. 12㎡ 居室13室		敷地:918㎡ 建物:鉄筋コンクリート造、3階 建、延べ705㎡			定員6名	
Q6	管理運営形態	指定管理者による管理 (指定管理者名) 社会福祉法人 四天王寺福祉事業団	指定管理者による管理 (社会福祉法人 秋田県母子 寡婦福祉連合会)	指定管理委託(受託者:社会福祉法人神奈川県民生福祉協会)	指定管理者による管理 (指定管理者名) 社会福祉法 人 葵寮	指定管理者による管理 (指定管理者名) 社会福祉法 人 愛知県婦人福祉会	直営			直営	
Q7		342人(新規入所者数) 19,785人(延べ人数)	8人(新規入所者数) 内訳(要保護女子6人、同伴乳 幼児2人)	延べ15, 354名	新規入所者数 13人	白菊荘 20人(新規入所者数) 成願荘 18人(新規入所者数)	一時保護 267人			3人(新規入寮者数)	
Q8	料金(料金水準の 考え方)	規定なし	規定なし	なし	なし	規定なし				なし	
Q9	施設運営に係る事 業費 (20年度実績)	213,212千円	29,075千円	128, 578, 937円	40,389千円	150, 062千円	12,271千円			10, 995千円	
Q10	公費投入額	207,834千円	14,538千円	50, 008, 875円	22,617千円	75, 031千円	12,271千円			10, 995千円	
Q11	施設職員数	常勤24人、非常勤9人	(常勤)6人 (非常勤)1人	常勤:10名、非常勤13名	6人(うち兼務3人)	白菊荘(常勤)9人(非常勤)2人成願荘(常勤)9人(非常勤)4人				<正規>7名(兼務) <非常勤>8名	
Q12	その他(同様施設はないものの、同様のサービスを実施されている場等についてお教え下さい。)										